

第6次時津町総合計画

まちづくり住民アンケート調査結果
報告書

令和2年1月

時津町

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の方法と調査対象者	3
3. 配布と回収状況	3
4. 調査項目	3
5. 報告書を読むにあたって	4
第2章 調査結果	5
問1 回答者の属性	7
問2 時津町のイメージ	12
問3 時津町の住み良さ	13
問4 10年くらい前と比べた住み良さの変化	14
問5 地域の状況の変化	15
問6 定住意向	16
問6-1 移転したい理由	18
問7 望む町の将来像	20
問8 今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野	22
問9 地域産業振興について特に力を注ぐべき分野	24
問10 安全なまちづくりのために力を注ぐべき施策	26
問11 老後への不安	28
問12 力を注ぐべき高齢者の福祉対策・生きがい対策	30
問13 生涯学習活動を充実するうえで重要なこと	32
問14 加入または所属している組織や団体	34
問15 地域や町内の活動や行事への参加程度	36
問16 まちづくりのために参加したい（できる）活動	37
問17 まちづくりへの参加方法	39
問18 行政運営に対する要望	41
問19 行政との協働活動の充実のために必要なこと	43
問20 郷土の誇りや宝（自由意見）	45
問21 第5次総合計画の施策に対する満足度	46
問22 まちづくりに対するアイデアや提案（自由意見）	49
第3章 資料編	53
1. 属性別クロス分析	55
2. 前回アンケート結果との比較分析	66

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「第6次時津町総合計画」の策定にあたって、町民の方々に、まちづくりに関するご意見・ご要望等をお聞きし、計画策定のための基礎資料として活用するために実施したものです。

2. 調査の方法と調査対象者

調査対象者	20歳以上の住民から無作為抽出
調査期間	令和元年11月4日～12月5日
調査方法	郵送による配布・回収

3. 配布と回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
5,000票	1,563票	31.3%

4. 調査項目

主な調査項目は次のとおりです。

設問類型	主な調査項目	
属性	○性別 ○職業 ○居住年数	○年齢 ○居住地区
町の印象と定住意向	○町のイメージ（現在と将来） ○地域の状況変化に対する評価	○住み良さ（現在と過去との比較） ○定住意向と移転理由
力を入れるべき分野	○地域産業 ○老後への不安点 ○生涯学習	○安全なまちづくり ○高齢者の福祉・生きがい対策
地域活動団体	○加入状況 ○参加したい活動内容	○行政運営への要望
まちづくりへの意向	○町政（まちづくり）への参加意向 ○協働推進のための方策	○行政運営への要望
町の誇りや自慢	○誇り・宝 ○利用するお土産品	○案内する場所
第5次総計の施策評価	○満足度	

5. 報告書を読むにあたって

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数（ n と表記）として、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の場合は、すべての回答者が1つの回答しか選択しなかったという特殊な場合を除き、回答比率の合計が100%を超えます。
- 表中の「全体」は回答者数となっており、複数回答の場合、回答数の合計とは異なります。
- 原則として、設問ごとに単純集計のグラフと年齢別クロス集計表を掲載し、その他の属性クロス集計（性別・職業別・居住地区別・居住年数別）については特徴がみられる場合のみ集計表を掲載しています。
- 集計結果のグラフ・表における“不明”とは、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答など）の件数（票数）を示しています。

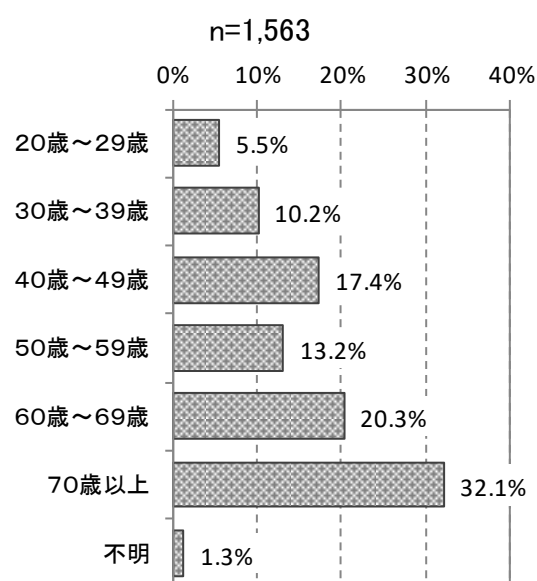
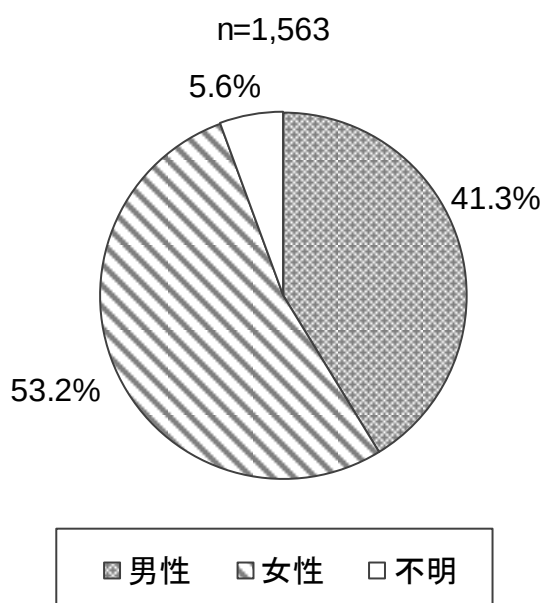
第2章 調査結果

問1 回答者の属性

① 年齢別

回答者の年齢は、「男性」が41.3%、「女性」が53.2%と、女性の回答率が高くなっています。

年齢は、「70歳以上」が32.1%で最も高く、ついで「60歳～69歳」が20.3%、30歳代～50歳代はそれぞれ10%台、「20歳～29歳」は5.5%となっています。

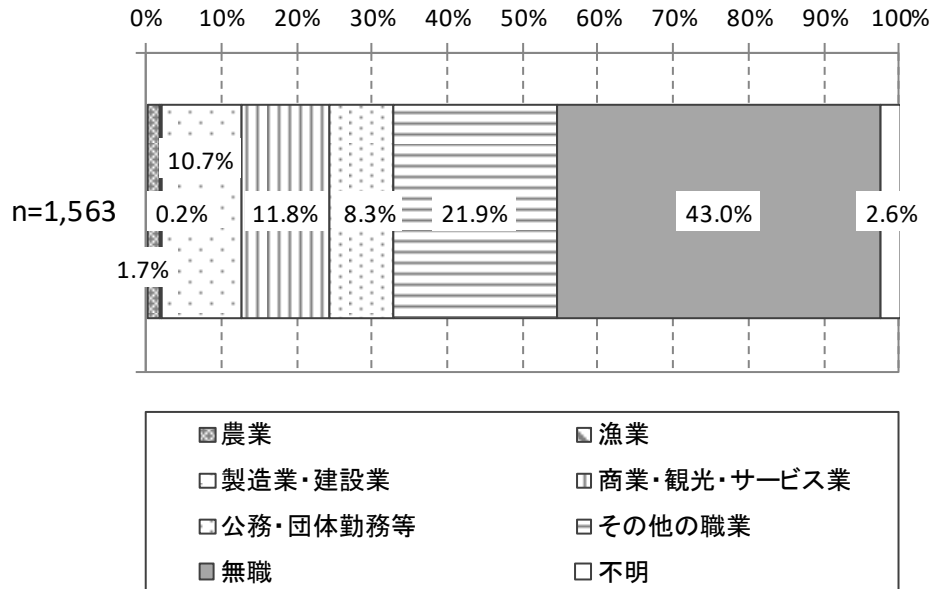


		全体	問1(イ)年齢						
			20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳 以上	不明
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		1,563	86	159	272	207	317	501	21
問1(ア)性別	男性	41.3	27.9	45.3	40.1	36.7	50.2	40.3	14.3
		645	24	72	109	76	159	202	3
	女性	53.2	72.1	54.7	56.6	61.4	45.7	50.5	14.3
		831	62	87	154	127	145	253	3
	不明	5.6	0.0	0.0	3.3	1.9	4.1	9.2	71.4
		87	0	0	9	4	13	46	15

※上段は構成比、下段は回答者数。以下同じ。

② 職業

回答者の職業は、「無職」(43.0%) が最も高く、「その他の職業」が 21.9%、「商業・観光・サービス業」が 11.8%となっています。



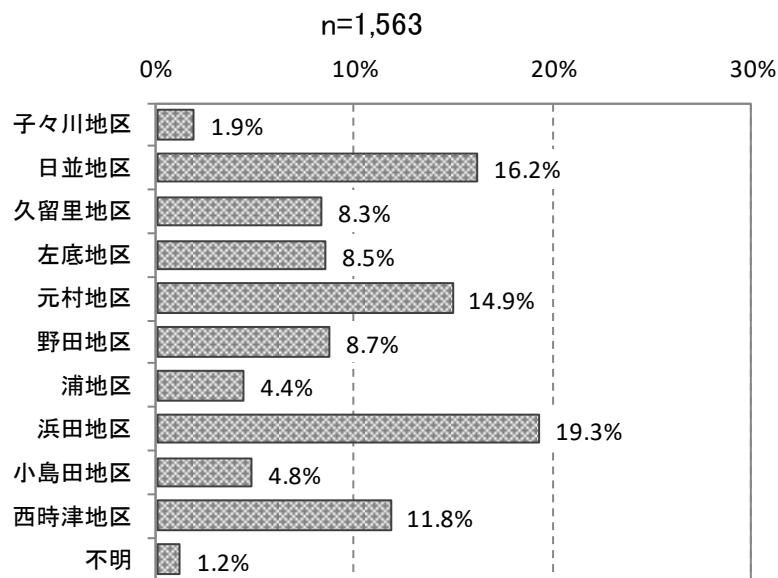
(回答は1つのみ)

		全体	問1(イ)年齢						
			20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	不明
合計		100.0 1,563	100.0 86	100.0 159	100.0 272	100.0 207	100.0 317	100.0 501	100.0 21
問1(ウ)職業	農業	1.7 26	0.0 0	0.6 1	0.4 1	0.5 1	0.9 3	4.0 20	0.0 0
	漁業	0.2 3	0.0 0	0.6 1	0.4 1	0.0 0	0.3 1	0.0 0	0.0 0
	製造業・建設業	10.7 167	18.6 16	22.6 36	16.9 46	13.0 27	9.5 30	2.4 12	0.0 0
	商業・観光・サービス業	11.8 184	18.6 16	21.4 34	17.6 48	17.9 37	12.0 38	2.2 11	0.0 0
	公務・団体勤務等	8.3 129	12.8 11	15.1 24	14.7 40	15.0 31	6.3 20	0.6 3	0.0 0
	その他の職業	21.9 342	36.0 31	23.9 38	36.0 98	34.8 72	23.3 74	5.6 28	4.8 1
	無職	43.0 672	11.6 10	13.2 21	13.2 36	16.4 34	46.1 146	83.8 420	23.8 5
	不明	2.6 40	2.3 2	2.5 4	0.7 2	2.4 5	1.6 5	1.4 7	71.4 15

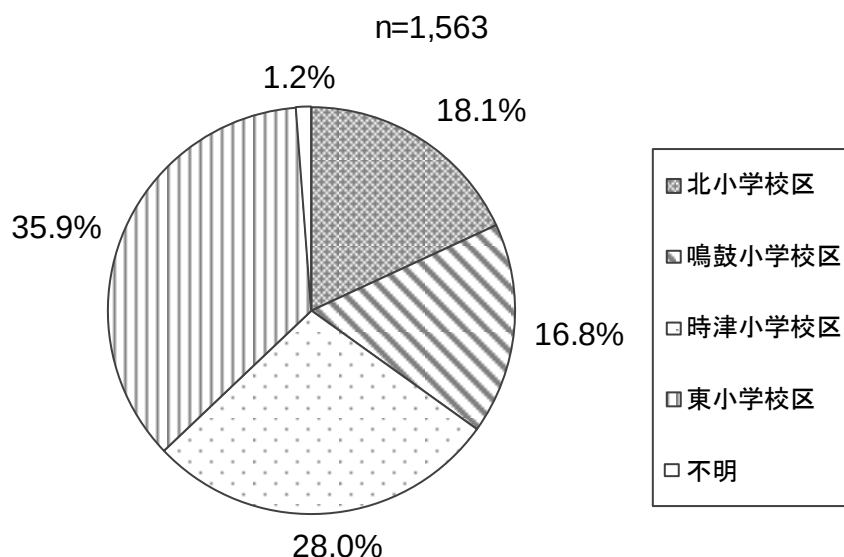
③ 居住地区

居住地区は、「浜田地区」が19.3%で最も高く、「日並地区」(16.2%)、「元村地区」(14.9%)、「西時津地区」(11.8%)が10%台で続いています。

4つの小学校区でみると、「東小学校区」が35.9%、「時津小学校区」が28.0%、「北小学校区」が18.1%、「鳴鼓小学校区」が16.8%となっています。



(回答は1つのみ)



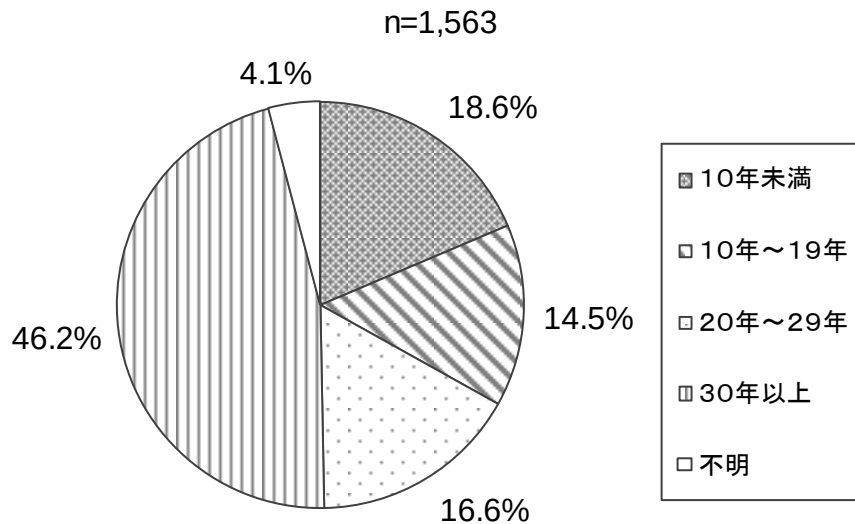
【居住地区】

		全体	問1(イ)年齢						
			20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳 以上	不明
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		1,563	86	159	272	207	317	501	21
問1(エ)居住 地区	子々川地区	1.9	0.0	1.3	1.5	1.4	3.8	1.6	0.0
		29	0	2	4	3	12	8	0
	日並地区	16.2	17.4	19.5	19.5	12.1	18.6	13.4	14.3
		253	15	31	53	25	59	67	3
	久留里地区	8.3	5.8	6.3	8.5	6.8	9.5	9.4	4.8
		130	5	10	23	14	30	47	1
	左底地区	8.5	7.0	10.1	8.8	7.7	9.1	8.2	4.8
		133	6	16	24	16	29	41	1
	元村地区	14.9	22.1	10.1	11.4	18.4	13.6	17.0	4.8
		233	19	16	31	38	43	85	1
	野田地区	8.7	5.8	6.3	9.2	11.6	9.5	8.0	9.5
		136	5	10	25	24	30	40	2
	浦地区	4.4	1.2	5.7	4.8	6.8	3.5	4.0	0.0
		68	1	9	13	14	11	20	0
	浜田地区	19.3	17.4	20.1	18.8	17.4	17.4	22.6	0.0
		302	15	32	51	36	55	113	0
小島田地区	4.8	4.7	3.8	3.7	5.3	5.0	5.6	0.0	
	75	4	6	10	11	16	28	0	
西時津地区	11.8	18.6	17.0	13.6	11.6	10.1	9.8	0.0	
	185	16	27	37	24	32	49	0	
不明	1.2	0.0	0.0	0.4	1.0	0.0	0.6	61.9	
	19	0	0	1	2	0	3	13	

④ 居住年数

居住年数は、「30年以上」が46.2%で最も高く、ついで「10年未満」が18.6%、「20年～29年」が16.6%、「10年～19年」が14.5%となっています。

年齢別にみると、20歳代では「20年～29年」(41.9%)、30歳代では「10年未満」(56.6%)、40歳代では「30年以上」(31.3%)、50歳代では「20～29年」(33.3%)、60歳代、70歳以上では「30年以上」(59.6%、71.7%)が最も高くなっています。



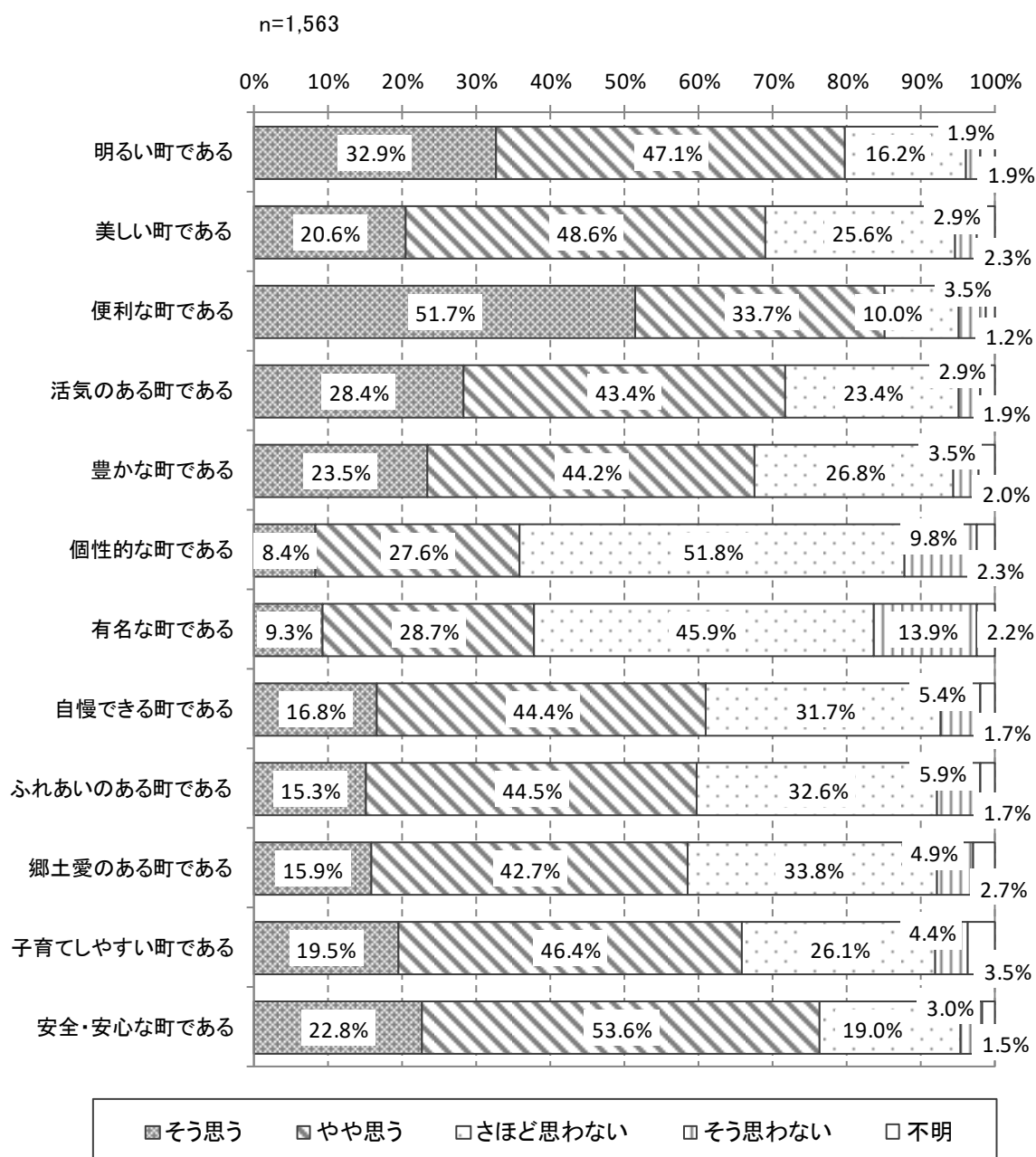
(回答は1つのみ)

		全体	問1(イ)年齢						
			20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	不明
合計		100.0 1,563	100.0 86	100.0 159	100.0 272	100.0 207	100.0 317	100.0 501	100.0 21
問1(オ)居住年数	10年未満	18.6 291	38.4 33	56.6 90	25.4 69	14.5 30	7.9 25	8.8 44	0.0 0
	10年～19年	14.5 227	18.6 16	17.0 27	26.8 73	20.8 43	11.4 36	6.2 31	4.8 1
	20年～29年	16.6 259	41.9 36	9.4 15	13.2 36	33.3 69	17.7 56	9.2 46	4.8 1
	30年以上	46.2 722	0.0 0	15.7 25	31.3 85	29.5 61	59.6 189	71.7 359	14.3 3
	不明	4.1 64	1.2 1	1.3 2	3.3 9	1.9 4	3.5 11	4.2 21	76.2 16

問2 時津町のイメージ

時津町のイメージについては、「そう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合を合わせると、“便利な町である”が85.4%で最も高く、ついで“明るい町である”が80.0%、“安全・安心な町である”が76.4%と続いています。

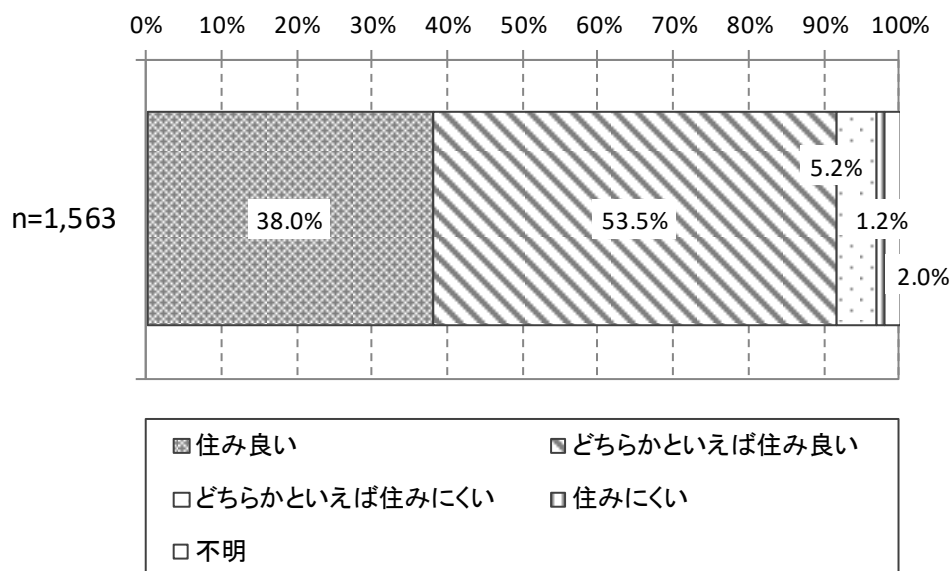
一方、“有名な町である”“個性的な町である”の2項目は、「さほど思わない」「そう思わない」と回答した人の割合が高くなっています。



(それぞれ回答は1つのみ)

問3 時津町の住み良さ

時津町の住み良さについては、「住み良い」（38.0%）、「どちらかといえば住み良い」（53.5%）を合わせると、91.5%の人が“住み良い”と評価しています。

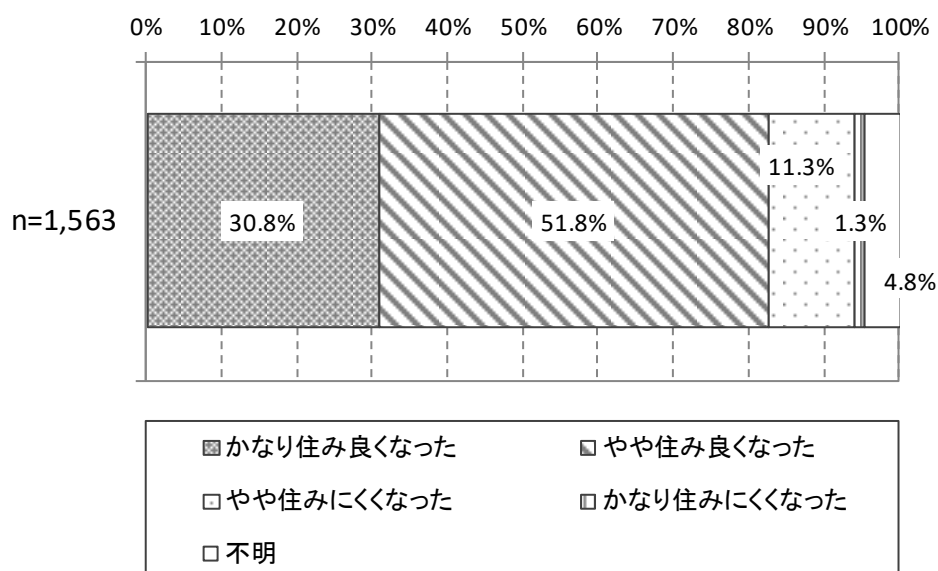


（回答は1つのみ）

		全体	問1(イ)年齢						
			20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	不明
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		1,563	86	159	272	207	317	501	21
問3 時津町の住み良さ	住み良い	38.0	45.3	50.3	39.7	40.1	29.0	36.9	33.3
		594	39	80	108	83	92	185	7
	どちらかといえば住み良い	53.5	48.8	46.5	52.2	57.0	59.6	52.9	28.6
		836	42	74	142	118	189	265	6
	どちらかといえば住みにくい	5.2	5.8	2.5	5.9	1.9	7.6	5.6	4.8
		82	5	4	16	4	24	28	1
	住みにくい	1.2	0.0	0.6	0.7	0.5	2.2	1.4	4.8
		19	0	1	2	1	7	7	1
	不明	2.0	0.0	0.0	1.5	0.5	1.6	3.2	28.6
		32	0	0	4	1	5	16	6

問4 10年くらい前と比べた住み良さの変化

住み良さの変化については、「かなり住み良くなった」(30.8%)、「やや住み良くなった」(51.8%)を合わせると、82.6%の人が“住み良くなった”と評価しています。



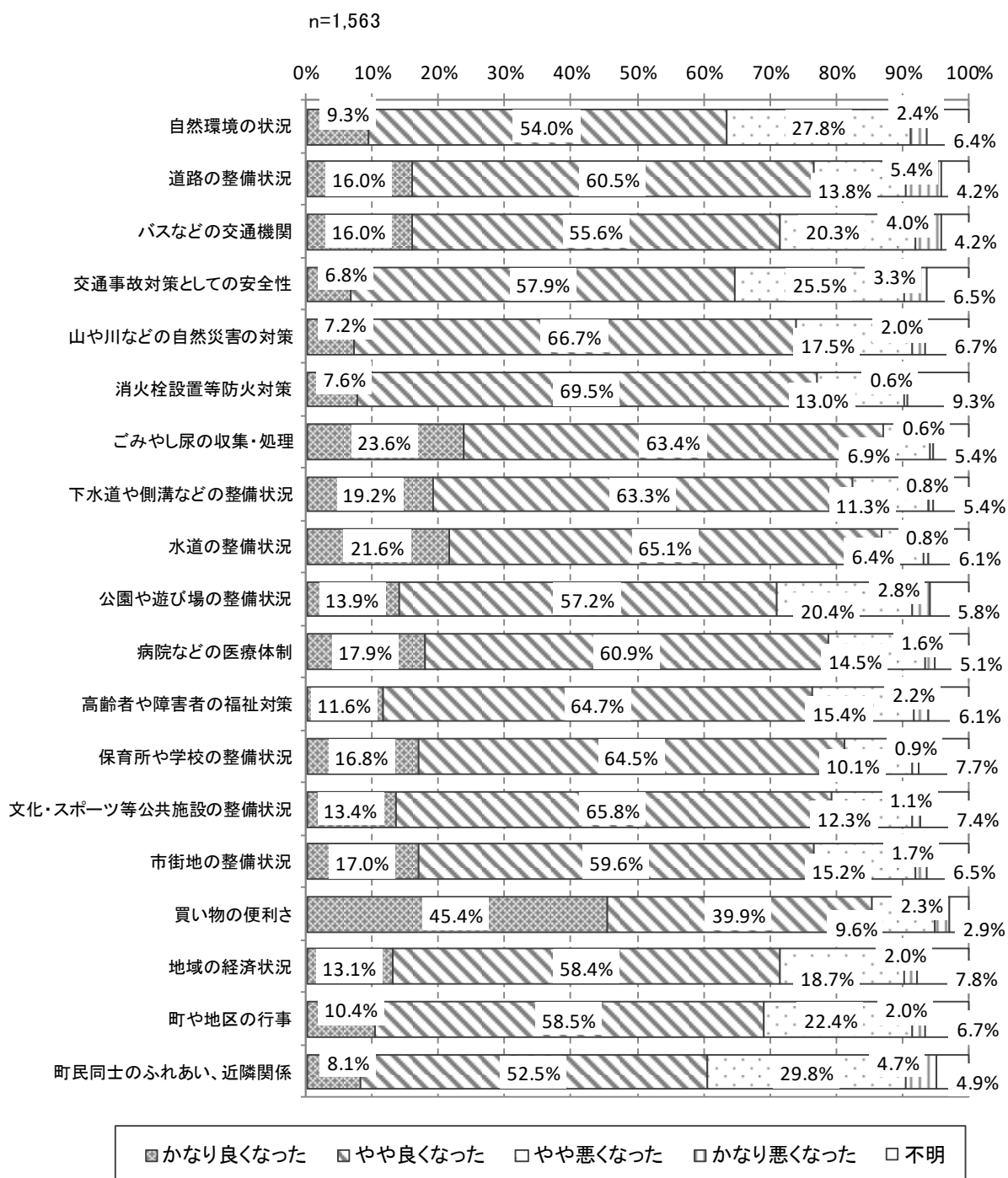
(回答は1つのみ)

	全体	問1(イ)年齢						
		20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	不明
合計	100.0 1,563	100.0 86	100.0 159	100.0 272	100.0 207	100.0 317	100.0 501	100.0 21
問4 以前(10年くらい前)と比べて時津町の住み良さ	かなり住み良くなった	30.8 481	31.4 27	30.2 48	28.3 77	26.6 55	28.7 91	35.5 178
	やや住み良くなった	51.8 809	54.7 47	56.6 90	54.8 149	56.0 116	50.5 160	47.3 237
	やや住みにくくなった	11.3 177	5.8 5	5.7 9	12.9 35	14.5 30	14.8 47	10.2 51
	かなり住みにくくなった	1.3 21	0.0 0	0.6 1	0.4 1	1.0 2	2.8 9	1.6 8
	不明	4.8 75	8.1 7	6.9 11	3.7 10	1.9 4	3.2 10	5.4 27
								28.6 6

問5 地域の状況の変化

地域の状況の変化については、いずれの項目も高い評価を得ています。その中でも“買い物の便利さ”については45.4%の人が「かなり良くなった」と回答しています。

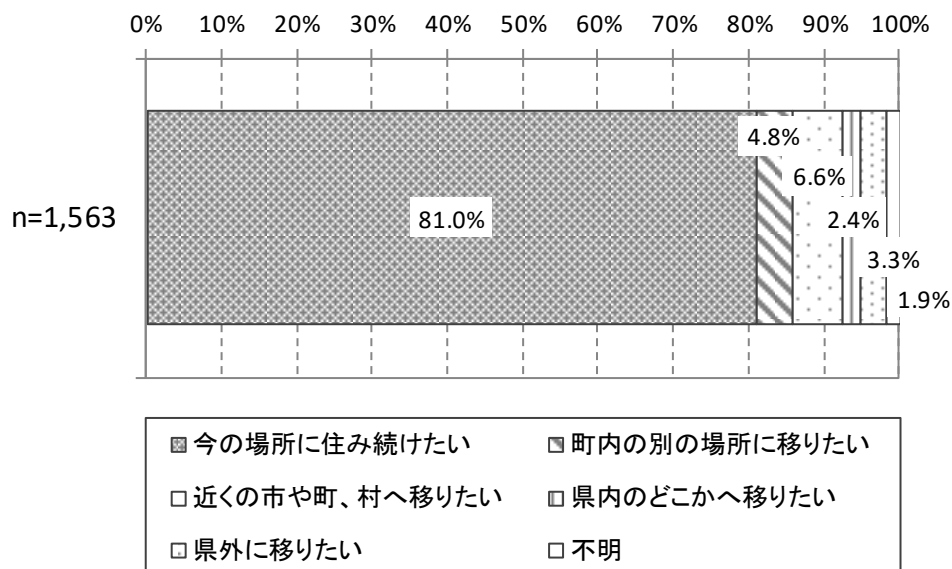
一方、“町民同士のふれあい、近隣関係”“自然環境の状況”“交通事故対策としての安全性”については、「かなり良くなった」「やや良くなった」と回答した人の割合が、他の項目に比べてやや低くなっています。



(それぞれ回答は1つのみ、%非表示)

問6 定住意向

定住意向については、「今の場所に住み続けたい」と回答する人が81.0%を占めています。



(回答は1つのみ)

		全体	問1(イ)年齢						
			20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	不明
合計		100.0 1,563	100.0 86	100.0 159	100.0 272	100.0 207	100.0 317	100.0 501	100.0 21
問6 定住意向	今の場所に住み続けたい	81.0 1,266	62.8 54	79.2 126	77.9 212	78.3 162	82.6 262	87.4 438	57.1 12
	町内の別の場所に移りたい	4.8 75	8.1 7	6.3 10	4.0 11	3.9 8	4.4 14	4.6 23	9.5 2
	近くの市や町、村へ移りたい	6.6 103	11.6 10	5.7 9	8.8 24	9.2 19	6.6 21	3.8 19	4.8 1
	県内のどこかへ移りたい	2.4 37	4.7 4	1.9 3	2.6 7	3.4 7	2.5 8	1.6 8	0.0 0
	県外に移りたい	3.3 52	12.8 11	5.7 9	5.1 14	4.8 10	2.2 7	0.2 1	0.0 0
	不明	1.9 30	0.0 0	1.3 2	1.5 4	0.5 1	1.6 5	2.4 12	28.6 6

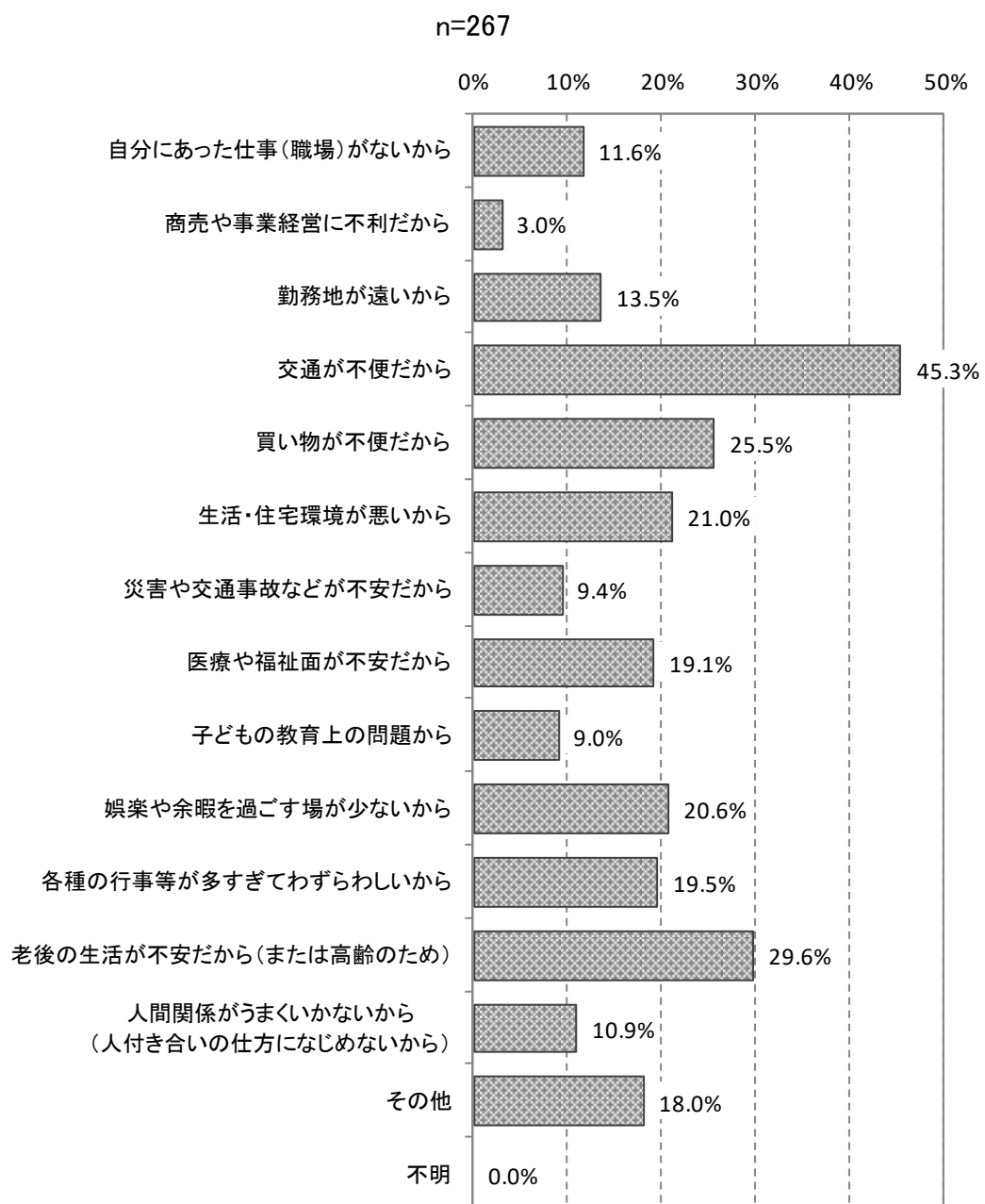
【移転希望先】

選択肢	具体例
町内の別の場所	・記入があったのは52件 ・「スーパーマーケットの近く」が6件、「バス停の近く」が5件 ・具体的地名では「元村」「西時津」「日並」（各4件）、「平地」（3件）などがあげられています
近くの市や町	・記入があったのは87件 ・「交通の便利な所」が4件 ・具体的地名で最も多かったのは「長崎市」で54件 ・ついで「長与町」（11件）が多く、「住吉町」（4件）、「琴海町」「大村市」「諫早市」（各3件）などがあげられています
県内	・記入があったのは32件 ・具体的地名では「長崎市」（15件）、「大村市」（4件）、「諫早市」（2件）などがあげられています
県外	・記入があったのは43件 ・「実家、子どもの近く」が5件 ・具体的地名で最も多かったのは「福岡」で28件 ・その他に「東京」（5件）、「熊本」（4件）、「神奈川」（2件）などがあげられています

問6－1 移転したい理由

移転したい理由としては、「交通が不便だから」が45.3%で最も高く、ついで「老後の生活が不安だから（または高齢のため）」が29.6%、「買い物が不便だから」が25.5%と続いています。

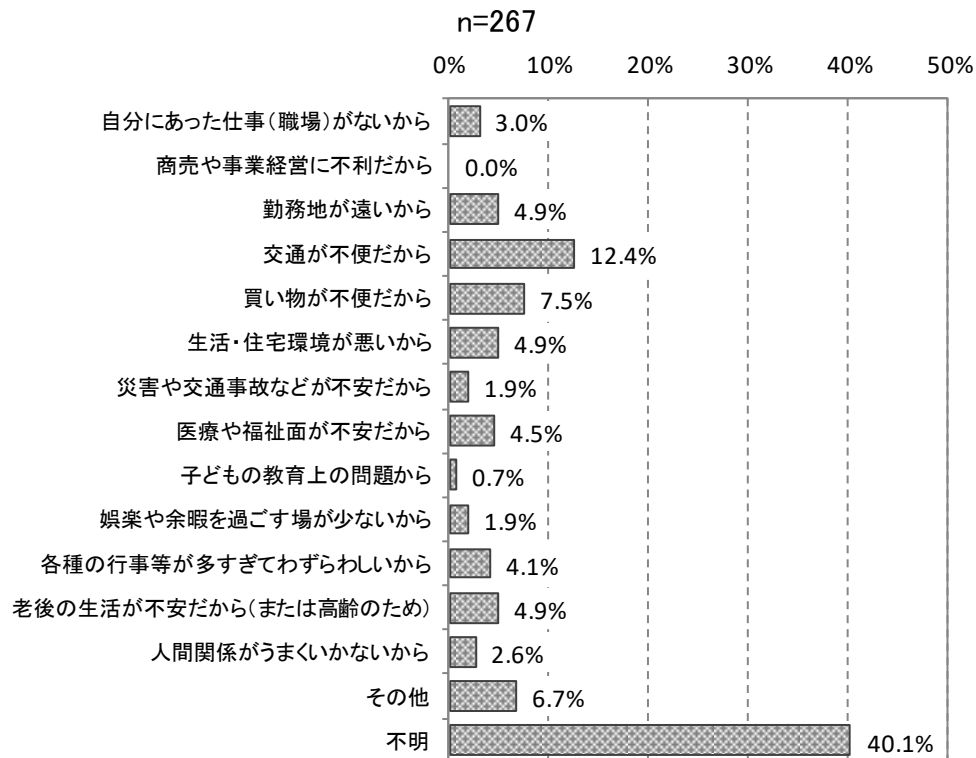
移転したい理由の順位をみると、「買い物が不便だから」を第1位にあげる人の割合が7.5%と「交通が不便だから」（12.4%）について高くなっています。



（回答は3つまで）

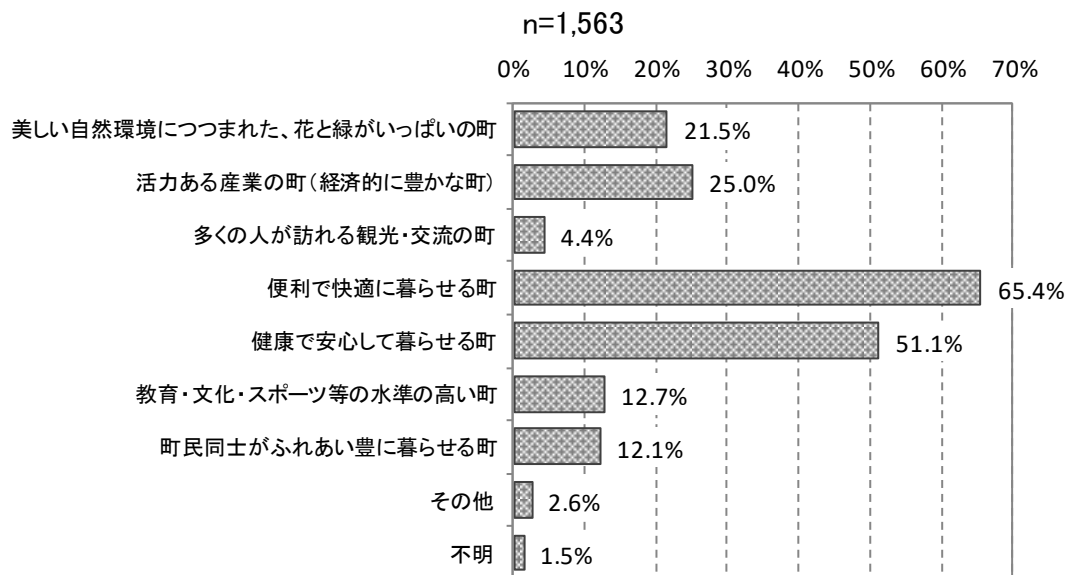
		全体	問1(イ)年齢						
			20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳 以上	不明
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		267	32	31	56	44	50	51	3
問6-1 移転 したい理由(3 つまで)	自分にあった仕事(職場)がないから	11.6 31	25.0 8	22.6 7	14.3 8	11.4 5	4.0 2	2.0 1	0.0 0
	商売や事業経営に不利だから	3.0 8	0.0 0	6.5 2	1.8 1	4.5 2	4.0 2	2.0 1	0.0 0
	勤務地が遠いから	13.5 36	25.0 8	19.4 6	25.0 14	13.6 6	2.0 1	0.0 0	33.3 1
	交通が不便だから	45.3 121	46.9 15	38.7 12	60.7 34	34.1 15	40.0 20	45.1 23	66.7 2
	買い物が不便だから	25.5 68	25.0 8	16.1 5	17.9 10	22.7 10	34.0 17	33.3 17	33.3 1
	生活・住宅環境が悪いから	21.0 56	15.6 5	25.8 8	19.6 11	25.0 11	18.0 9	23.5 12	0.0 0
	災害や交通事故などが不安だから	9.4 25	6.3 2	22.6 7	3.6 2	6.8 3	12.0 6	9.8 5	0.0 0
	医療や福祉面が不安だから	19.1 51	9.4 3	25.8 8	12.5 7	18.2 8	26.0 13	21.6 11	33.3 1
	子どもの教育上の問題から	9.0 24	6.3 2	29.0 9	21.4 12	0.0 0	0.0 0	2.0 1	0.0 0
	娯楽や余暇を過ごす場が少ないから	20.6 55	40.6 13	29.0 9	19.6 11	11.4 5	18.0 9	15.7 8	0.0 0
	各種の行事等が多すぎてわずらわしいから	19.5 52	6.3 2	6.5 2	16.1 9	29.5 13	24.0 12	27.5 14	0.0 0
	老後の生活が不安だから(または高齢のため)	29.6 79	3.1 1	16.1 5	7.1 4	34.1 15	56.0 28	47.1 24	66.7 2
	人間関係がうまくいかないから(人付き合いの仕方がなじまないから)	10.9 29	12.5 4	6.5 2	8.9 5	13.6 6	10.0 5	13.7 7	0.0 0
	その他	18.0 48	18.8 6	19.4 6	19.6 11	25.0 11	20.0 10	7.8 4	0.0 0
	不明	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0

【移転したい理由：第1位】



問7 望む町の将来像

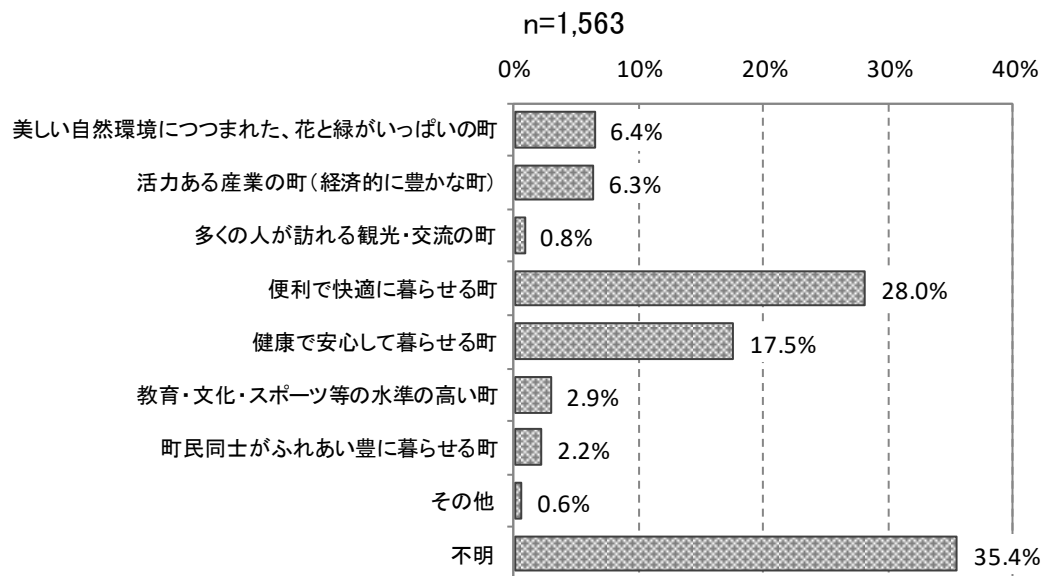
将来の時津町に望むイメージについては、「便利で快適に暮らせる町」が65.4%で最も高く、ついで「健康で安心して暮らせる町」が51.1%と続いています。



(回答は2つまで)

		全体	問1(イ)年齢						
			20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳 以上	不明
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		1,563	86	159	272	207	317	501	21
問7 望む町の将来像(2つまで)	美しい自然環境につつまれた、花と緑がいっぱいの町	21.5	31.4	18.2	20.2	25.1	22.1	19.6	23.8
		336	27	29	55	52	70	98	5
	活力ある産業の町(経済的に豊かな町)	25.0	27.9	22.6	27.9	32.9	22.1	22.4	23.8
		391	24	36	76	68	70	112	5
	多くの人が訪れる観光・交流の町	4.4	9.3	4.4	2.6	4.3	2.8	5.2	9.5
		68	8	7	7	9	9	26	2
	便利で快適に暮らせる町	65.4	77.9	74.8	71.7	70.0	63.1	57.1	47.6
		1,022	67	119	195	145	200	286	10
	健康で安心して暮らせる町	51.1	32.6	40.3	44.9	47.8	55.8	60.3	33.3
		799	28	64	122	99	177	302	7
	教育・文化・スポーツ等の水準の高い町	12.7	9.3	26.4	19.9	6.3	13.9	7.0	9.5
		198	8	42	54	13	44	35	2
	町民同士がふれあい豊に暮らせる町	12.1	4.7	6.9	5.9	8.7	12.9	19.4	9.5
		189	4	11	16	18	41	97	2
その他	2.6	4.7	3.1	2.9	1.9	2.8	2.0	0.0	
	40	4	5	8	4	9	10	0	
不明	1.5	0.0	0.0	1.1	0.0	1.3	2.6	19.0	
	24	0	0	3	0	4	13	4	

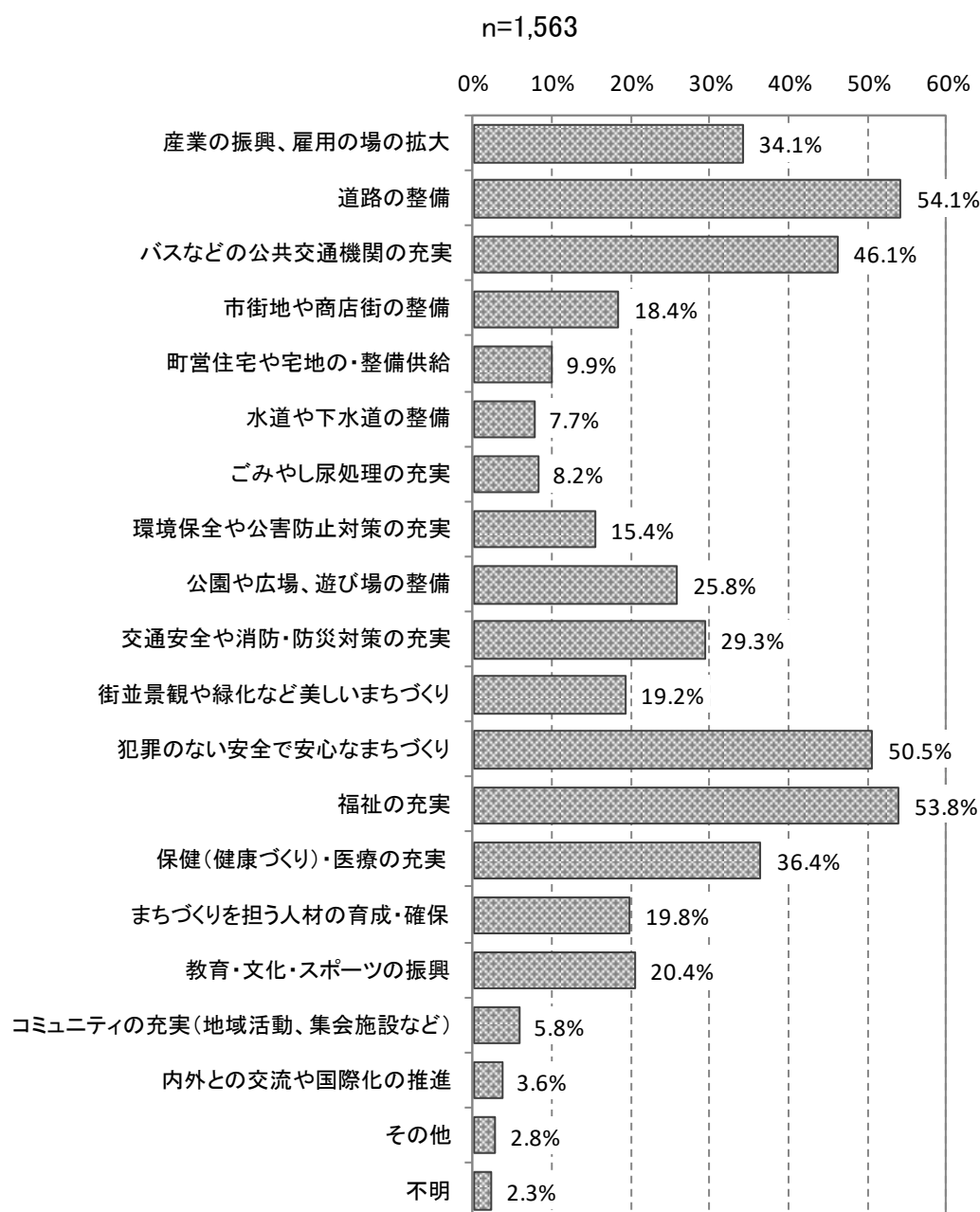
【望む町の将来像：第1位】



問8 今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野

今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野については、「道路の整備」が54.1%で最も高く、ついで「福祉の充実」が53.8%、「犯罪のない安全で安心なまちづくり」が50.5%と50%台で続いています。

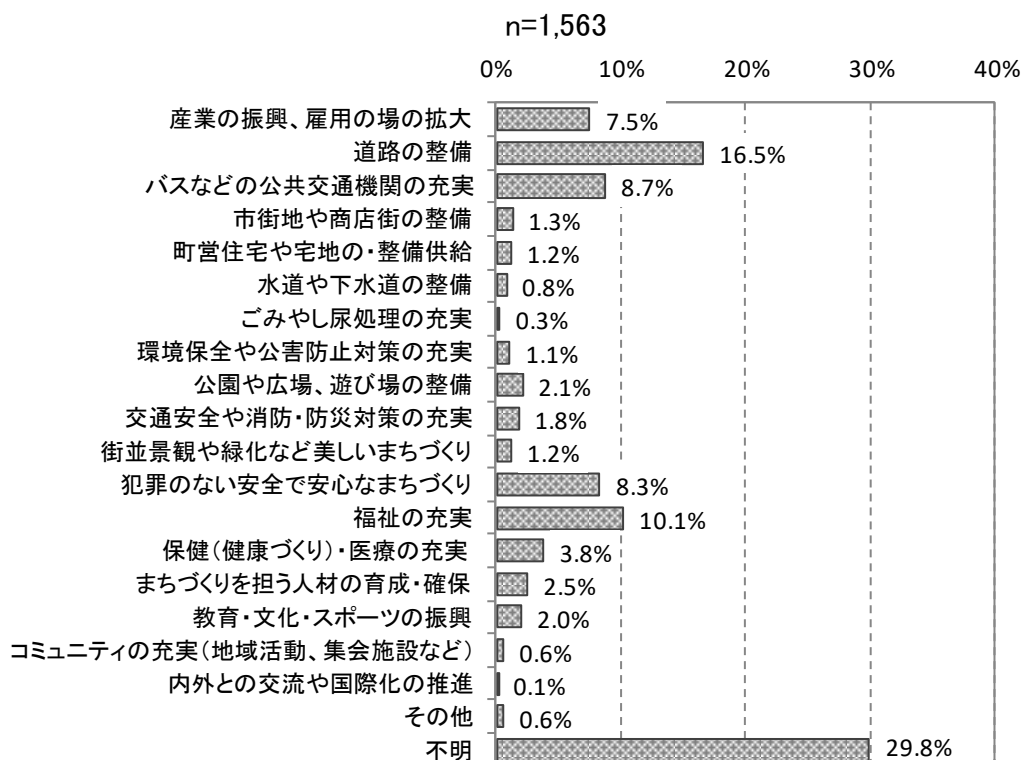
優先順位をみると、「バスなどの公共交通機関の充実」(8.7%)を第1位にあげる人の割合が「道路の整備」(16.5%)、「福祉の充実」(10.1%)について高くなっています。



(回答は5つまで)

		全体	問1(イ)年齢						
			20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳 以上	不明
合計		100.0 1,563	100.0 86	100.0 159	100.0 272	100.0 207	100.0 317	100.0 501	100.0 21
問8 今後の まちづくりで特 に力を注ぐべ き分野(5つま で)	産業の振興、雇用の場の拡大	34.1 533	34.9 30	37.7 60	40.1 109	35.7 74	32.5 103	29.9 150	33.3 7
	道路の整備	54.1 846	58.1 50	58.5 93	64.3 175	61.8 128	53.6 170	44.1 221	42.9 9
	バスなどの公共交通機関の充実	46.1 721	51.2 44	45.3 72	47.1 128	51.7 107	45.7 145	43.1 216	42.9 9
	市街地や商店街の整備	18.4 288	30.2 26	16.4 26	21.0 57	17.4 36	13.6 43	19.0 95	23.8 5
	町営住宅や宅地の・整備供給	9.9 154	10.5 9	10.7 17	9.2 25	6.3 13	13.6 43	9.0 45	9.5 2
	水道や下水道の整備	7.7 120	12.8 11	7.5 12	5.5 15	8.2 17	8.5 27	7.6 38	0.0 0
	ごみやし尿処理の充実	8.2 128	8.1 7	6.9 11	6.6 18	9.7 20	9.8 31	8.0 40	4.8 1
	環境保全や公害防止対策の充実	15.4 241	9.3 8	11.9 19	13.6 37	13.5 28	19.2 61	17.4 87	4.8 1
	公園や広場、遊び場の整備	25.8 404	36.0 31	49.1 78	33.5 91	26.1 54	20.2 64	16.2 81	23.8 5
	交通安全や消防・防災対策の充実	29.3 458	29.1 25	27.7 44	30.1 82	32.9 68	29.0 92	28.1 141	28.6 6
	街並景観や緑化など美しいまちづくり	19.2 300	26.7 23	15.1 24	21.3 58	19.8 41	19.6 62	18.0 90	9.5 2
	犯罪のない安全で安心なまちづくり	50.5 790	45.3 39	45.9 73	52.6 143	49.8 103	52.1 165	51.7 259	38.1 8
	福祉の充実	53.8 841	32.6 28	38.4 61	40.1 109	57.0 118	62.8 199	63.3 317	42.9 9
	保健(健康づくり)・医療の充実	36.4 569	29.1 25	29.6 47	33.8 92	31.4 65	41.3 131	40.5 203	28.6 6
	まちづくりを担う人材の育成・確保	19.8 309	15.1 13	15.1 24	18.4 50	17.9 37	21.8 69	23.0 115	4.8 1
	教育・文化・スポーツの振興	20.4 319	18.6 16	38.4 61	25.7 70	18.8 39	17.7 56	15.0 75	9.5 2
	コミュニティの充実(地域活動、集 会施設など)	5.8 91	7.0 6	4.4 7	3.7 10	3.9 8	6.3 20	7.8 39	4.8 1
	内外との交流や国際化の推進	3.6 57	4.7 4	10.1 16	3.7 10	3.4 7	2.5 8	2.4 12	0.0 0
	その他	2.8 43	7.0 6	5.0 8	4.4 12	1.9 4	1.3 4	1.8 9	0.0 0
	不明	2.3 36	0.0 0	0.0 0	0.0 0	1.4 3	0.9 3	5.0 25	23.8 5

【今後のまちづくりで特に力を入れるべき分野：第1位】

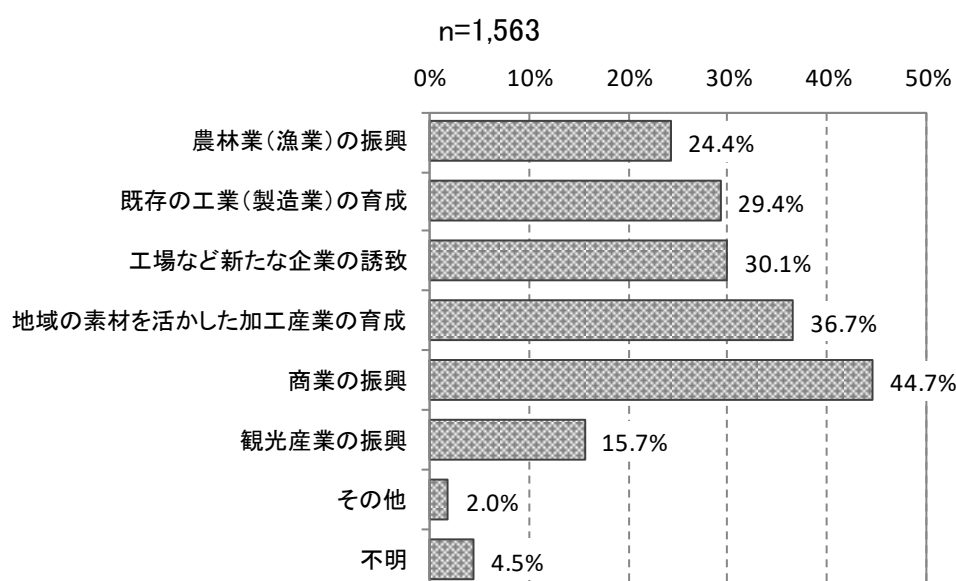


問9 地域産業振興について特に力を注ぐべき分野

地域産業振興について特に力を注ぐべき分野については、「商業の振興」が44.7%で最も高く、ついで「地域の素材を活かした加工産業の育成」が36.7%、「工場などの新たな企業の誘致」が30.1%と続いています。

優先順位をみると、「工場など新たな企業の誘致」「地域の素材を活かした加工産業の育成」を第1位にあげる人が各12.9%と、同程度の割合となっています。

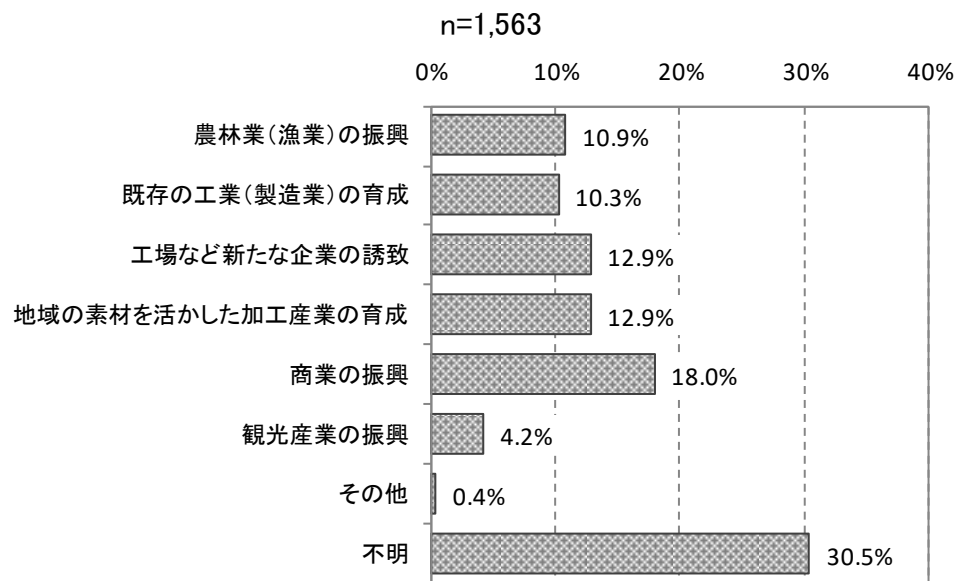
年齢別にみると、69歳以下では「商業の振興」、70歳以上では「地域の素材を活かした加工産業の育成」が最も高くなっています。また、20歳代では「観光産業の振興」が全体平均に比べて高くなっています。



(回答は2つまで)

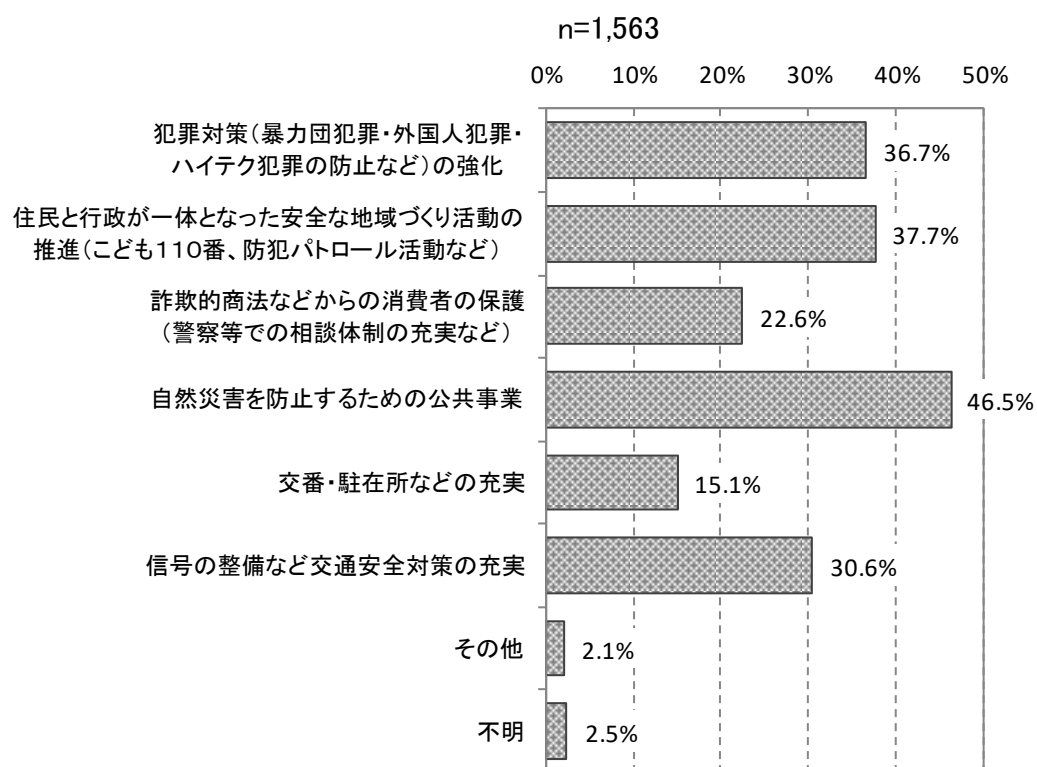
		全体	問1(イ)年齢						
			20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	不明
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		1,563	86	159	272	207	317	501	21
問9 地域産業振興について特に力を注ぐべき分野(2つまで)	農林業(漁業)の振興	24.4	22.1	22.0	20.6	20.8	29.0	26.5	19.0
		382	19	35	56	43	92	133	4
	既存の工業(製造業)の育成	29.4	25.6	35.8	33.1	29.5	31.2	25.3	14.3
		459	22	57	90	61	99	127	3
	工場など新たな企業の誘致	30.1	25.6	31.4	33.8	27.1	30.0	30.1	23.8
		471	22	50	92	56	95	151	5
	地域の素材を活かした加工産業の育成	36.7	33.7	28.9	30.9	38.2	38.5	41.1	38.1
		574	29	46	84	79	122	206	8
	商業の振興	44.7	46.5	55.3	54.4	54.6	39.7	35.1	38.1
		699	40	88	148	113	126	176	8
	観光産業の振興	15.7	26.7	15.7	15.1	13.0	14.8	15.8	14.3
		245	23	25	41	27	47	79	3
	その他	2.0	1.2	2.5	1.8	2.9	2.2	1.8	0.0
		32	1	4	5	6	7	9	0
	不明	4.5	0.0	0.6	1.1	1.9	4.1	9.0	23.8
		71	0	1	3	4	13	45	5

【地域産業の振興について特に力を注ぐべき分野：第1位】



問 10 安全なまちづくりのために力を注ぐべき施策

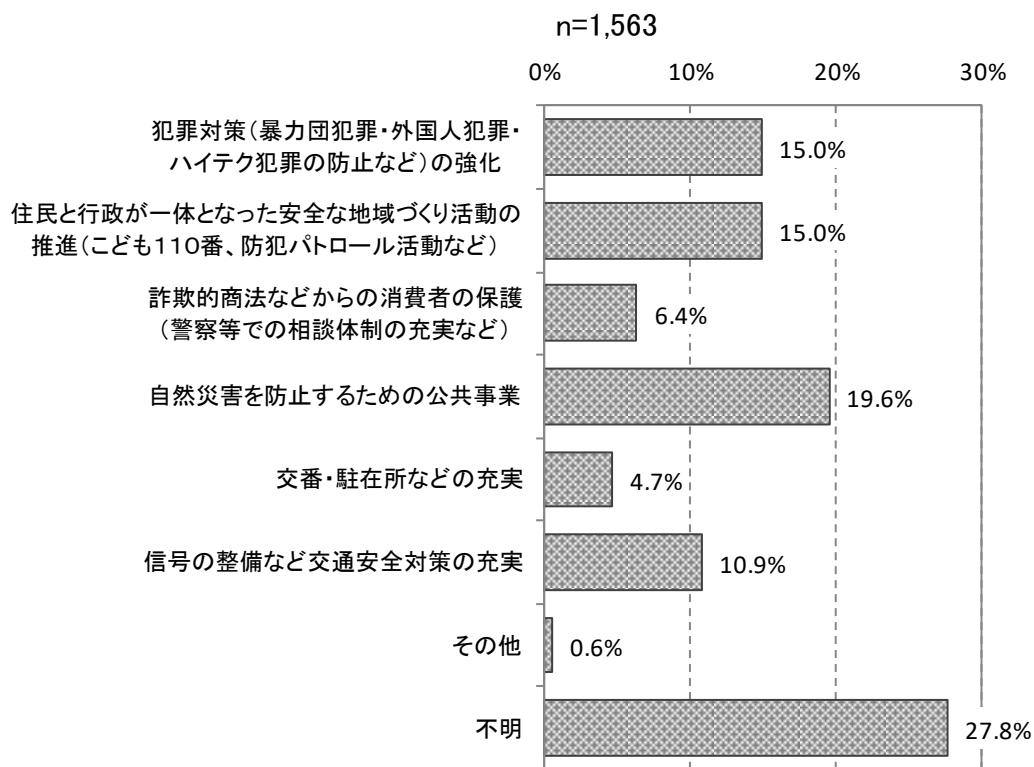
安全なまちづくりのために力を注ぐべき施策については、「自然災害を防止するための公共事業」が46.5%で最も高く、ついで「住民と行政が一体となった安全な地域づくり活動の推進(こども110番、防犯パトロール活動など)」が37.7%、「犯罪対策(暴力団犯罪・外国人犯罪・ハイテク犯罪の防止など)の強化」が36.7%と続いています。



(回答は2つまで)

		全体	問1(イ)年齢						
			20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳 以上	不明
合計		100.0 1,563	100.0 86	100.0 159	100.0 272	100.0 207	100.0 317	100.0 501	100.0 21
問10 安全な まちづくりのた めに力を注ぐ べき施策(2つ まで)	犯罪対策の強化	36.7 574	38.4 33	35.2 56	34.6 94	46.9 97	37.2 118	33.3 167	42.9 9
	住民と行政が一体となった 安全な地域づくり活動の推進	37.7 589	38.4 33	39.0 62	32.7 89	30.9 64	41.0 130	40.3 202	42.9 9
	詐欺的商法などからの 消費者の保護	22.6 354	22.1 19	13.8 22	16.2 44	22.2 46	27.8 88	26.7 134	4.8 1
	自然災害を防止するための 公共事業	46.5 727	46.5 40	44.7 71	49.3 134	43.0 89	48.9 155	45.5 228	47.6 10
	交番・駐在所などの充実	15.1 236	12.8 11	12.6 20	16.5 45	13.0 27	12.0 38	18.8 94	4.8 1
	信号の整備など 交通安全対策の充実	30.6 479	32.6 28	45.3 72	44.9 122	34.3 71	24.6 78	21.2 106	9.5 2
	その他	2.1 33	1.2 1	3.8 6	1.8 5	2.9 6	2.5 8	1.4 7	0.0 0
	不明	2.5 39	0.0 0	1.3 2	0.4 1	1.4 3	1.6 5	4.6 23	23.8 5

【安全なまちづくりのために特に力を注ぐべき施策：第1位】

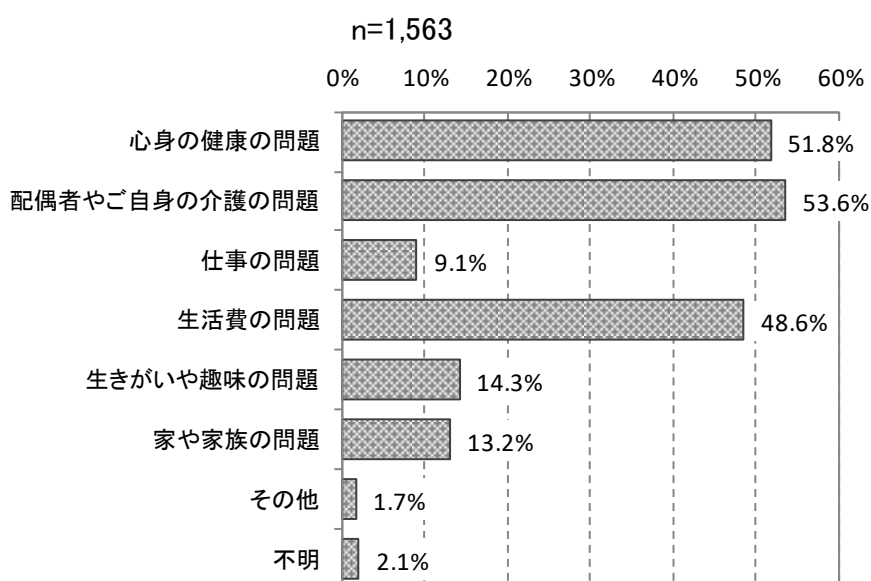


問 11 老後への不安

自身の老後の不安については、「配偶者やご自身の介護の問題」が53.6%で最も高く、ついで「心身の健康の問題」が51.8%、「生活費の問題」が48.6%と続いています。

老後への不安第1位の順位をみると、「心身の健康の問題」が26.2%と最も高く、ついで「生活費の問題」（21.4%）が高くなっています。

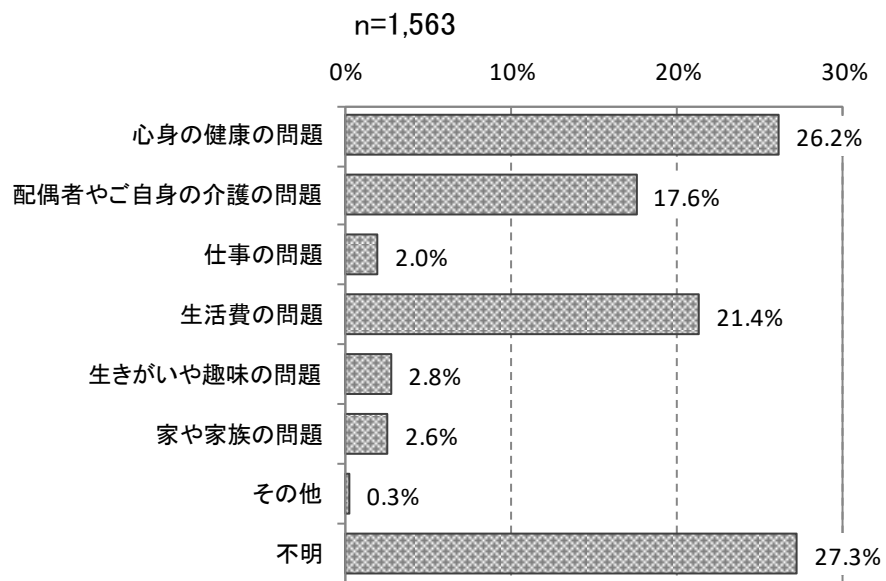
年齢別にみると、年齢が高くなるほど「心身の健康の問題」「配偶者ご自身の介護の問題」に不安を感じる人の割合が高くなっています。また、20歳代～40歳代は「生活費の問題」をあげる人の割合が高くなっています。



(回答は2つまで)

		全体	問1(イ)年齢						
			20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	不明
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		1,563	86	159	272	207	317	501	21
問11 老後への不安(2つまで)	心身の健康の問題	51.8	30.2	34.6	40.8	43.0	59.0	65.7	57.1
		809	26	55	111	89	187	329	12
	配偶者やご自身の介護の問題	53.6	37.2	47.2	49.3	52.2	52.7	61.9	57.1
		838	32	75	134	108	167	310	12
	仕事の問題	9.1	17.4	17.6	15.1	13.5	6.6	1.6	9.5
		143	15	28	41	28	21	8	2
	生活費の問題	48.6	73.3	68.6	64.0	59.9	43.5	29.1	28.6
		760	63	109	174	124	138	146	6
	生きがいや趣味の問題	14.3	16.3	11.3	14.0	11.6	17.4	14.8	4.8
		224	14	18	38	24	55	74	1
	家や家族の問題	13.2	20.9	13.2	12.5	12.6	13.9	12.6	0.0
		206	18	21	34	26	44	63	0
	その他	1.7	1.2	1.9	1.8	1.4	2.2	1.4	4.8
		27	1	3	5	3	7	7	1
	不明	2.1	0.0	1.3	0.0	1.4	0.6	4.4	19.0
		33	0	2	0	3	2	22	4

【老後への不安：第1位】

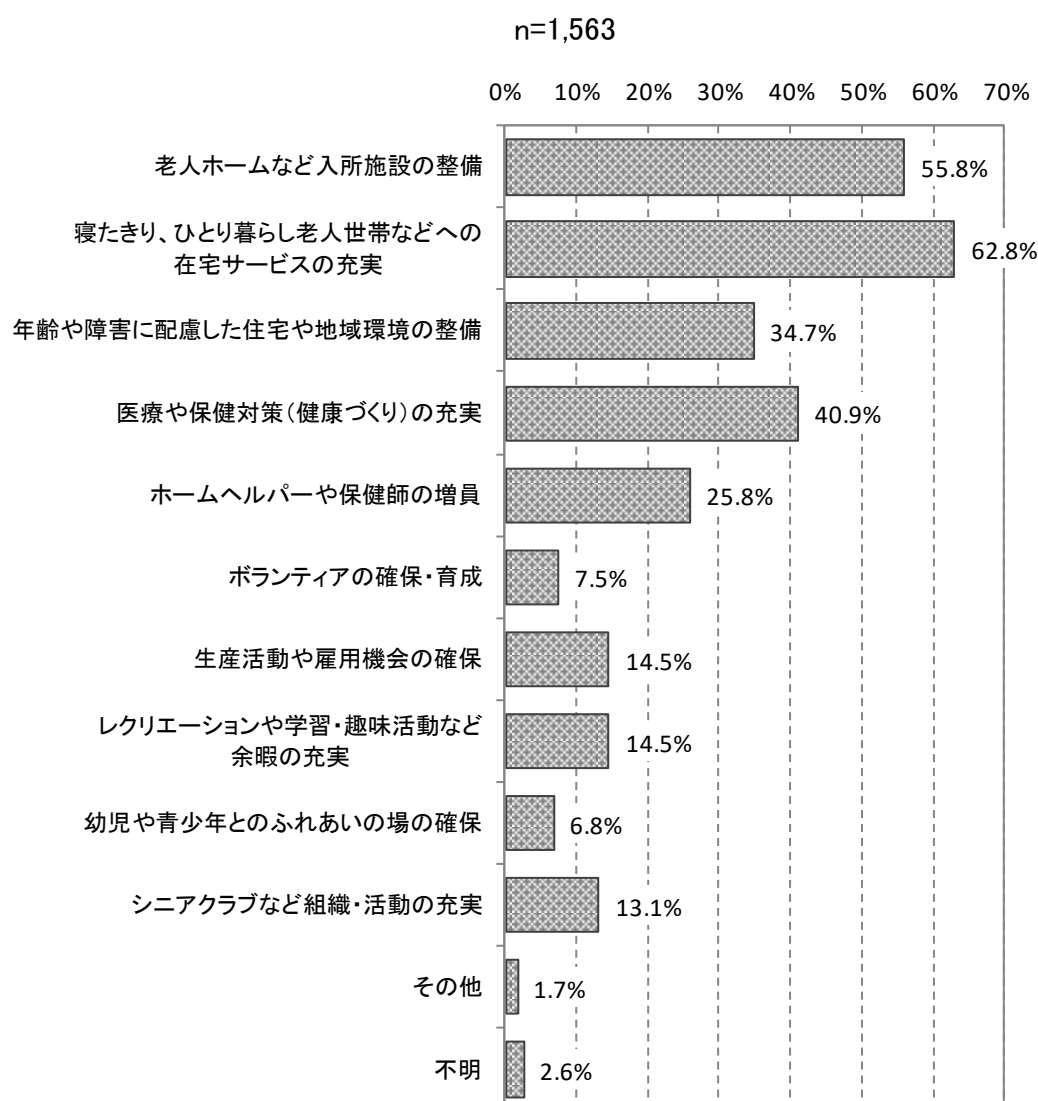


問 12 力を注ぐべき高齢者の福祉対策・生きがい対策

力を注ぐべき高齢者の福祉対策・生きがい対策については、「寝たきり、ひとり暮らし老人世帯などへの在宅サービスの充実」が62.8%で最も高く、ついで「老人ホームなど入所施設の整備」が55.8%、「医療や保健対策（健康づくり）の充実」が40.9%と続いています。

優先順位をみると、第1位は「老人ホームなど入所施設の整備」が22.5%で最も高くなっています。

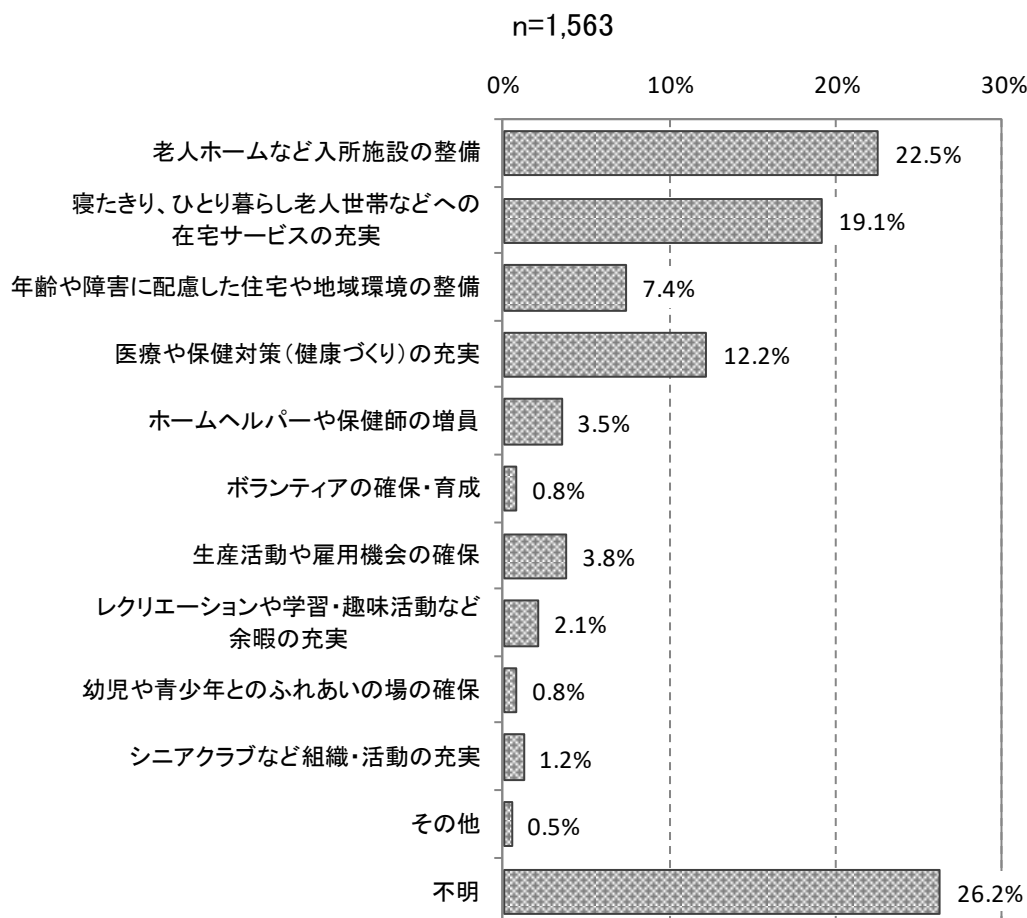
年齢別にみると、30歳代では「シニアクラブなど組織・活動の充実」が21.4%と全体平均に比べて高くなっています。



(回答は3つまで)

		全体	問1(イ)年齢						
			20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳 以上	不明
合計		100.0 1,563	100.0 86	100.0 159	100.0 272	100.0 207	100.0 317	100.0 501	100.0 21
問12 力を注 ぐべき高齢者 の福祉対策・ 生きがい対策 (3つまで)	老人ホームなど入所施設の整備	55.8 872	52.3 45	49.7 79	47.1 128	56.5 117	59.6 189	60.7 304	47.6 10
	寝たきり、ひとり暮らし老人世帯 などへの在宅サービスの充実	62.8 981	61.6 53	59.1 94	62.5 170	60.9 126	63.7 202	64.1 321	71.4 15
	年齢や障害に配慮した住宅や 地域環境の整備	34.7 542	37.2 32	28.9 46	38.2 104	43.5 90	34.4 109	31.3 157	19.0 4
	医療や保健対策(健康づくり)の 充実	40.9 640	46.5 40	36.5 58	43.8 119	41.1 85	39.4 125	41.3 207	28.6 6
	ホームヘルパーや保健師の増員	25.8 404	22.1 19	28.3 45	24.3 66	23.2 48	24.0 76	28.5 143	33.3 7
	ボランティアの確保・育成	7.5 118	7.0 6	8.8 14	8.5 23	5.3 11	8.5 27	6.8 34	14.3 3
	生産活動や雇用機会の確保	14.5 226	19.8 17	18.9 30	22.4 61	21.3 44	15.5 49	5.0 25	0.0 0
	レクリエーションや学習・趣味活動 など余暇の充実	14.5 227	12.8 11	18.9 30	14.7 40	13.5 28	14.2 45	14.2 71	9.5 2
	幼児や青少年とのふれあいの場の 確保	6.8 107	10.5 9	13.2 21	11.0 30	2.9 6	7.3 23	3.6 18	0.0 0
	シニアクラブなど組織・活動の充実	13.1 205	15.1 13	21.4 34	11.0 30	12.6 26	12.0 38	12.4 62	9.5 2
	その他	1.7 27	1.2 1	1.3 2	3.3 9	1.4 3	1.6 5	1.4 7	0.0 0
	不明	2.6 41	0.0 0	1.3 2	0.0 0	1.9 4	1.3 4	5.4 27	19.0 4

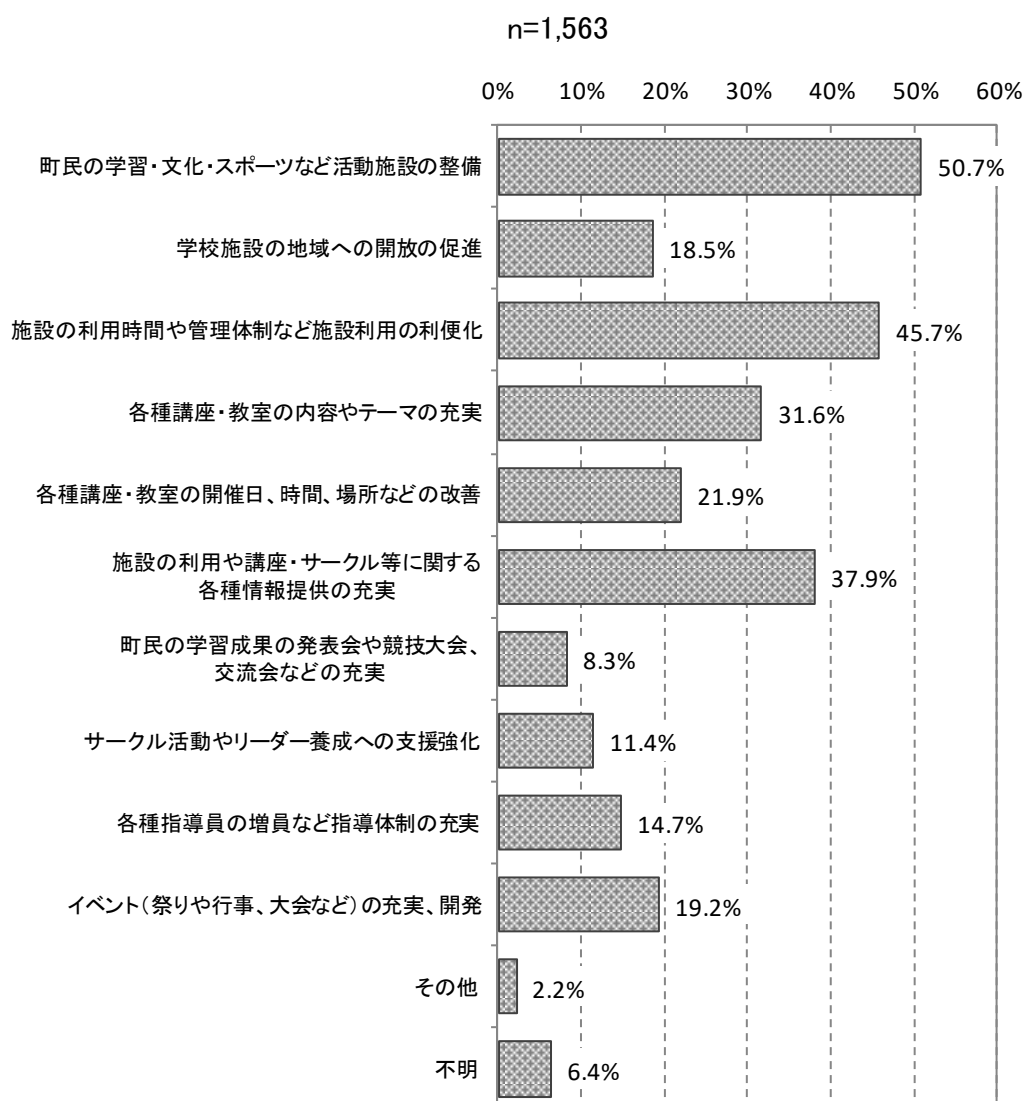
【力を注ぐべき高齢者の福祉対策・生きがい対策：第1位】



問 13 生涯学習活動を充実するうえで重要なこと

生涯学習活動を充実するうえで重要なことについては、「町民の学習・文化・スポーツなど活動施設の整備」が50.7%で最も高く、ついで「施設の利用時間や管理体制など施設利用の利便化」が45.7%、「施設の利用や講座・サークル等に関する各種情報提供の充実」が37.9%と続いています。

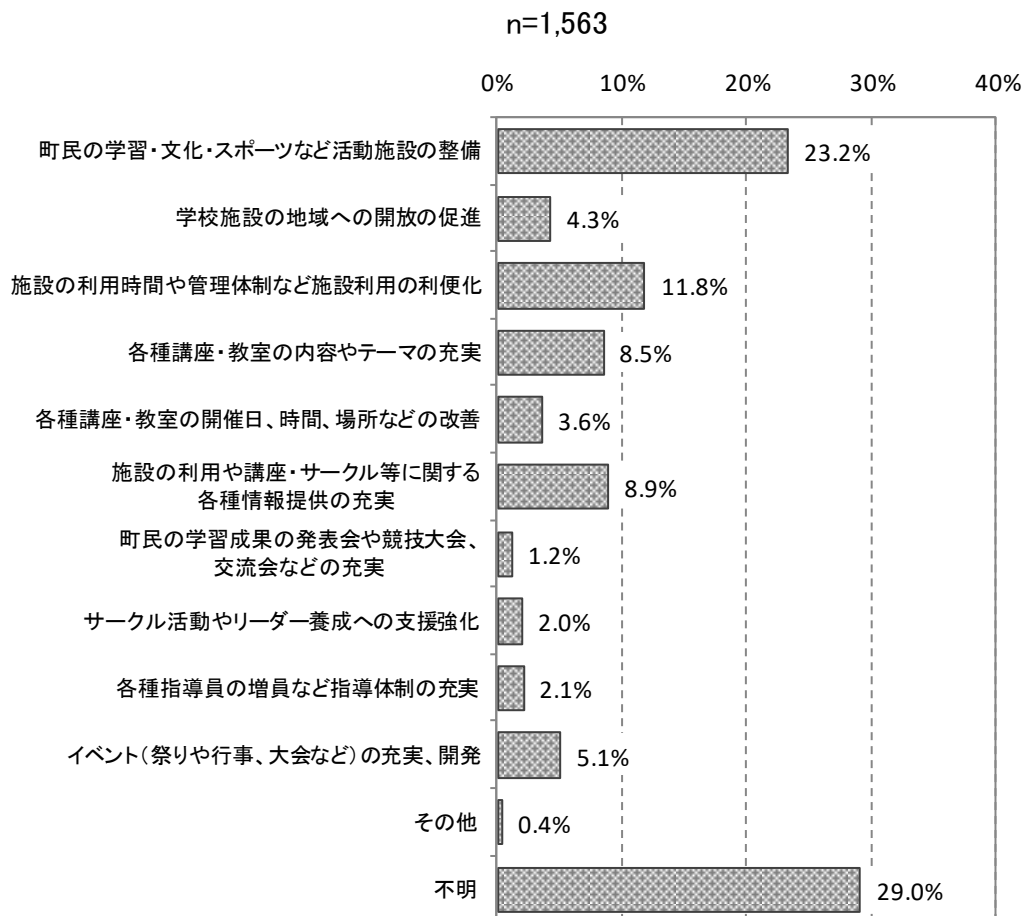
年齢別にみると、20歳代～30歳代では「イベント（祭りや行事、大会など）の充実、開発」をあげる人の割合が他の年齢層に比べて高くなっています。



（回答は3つまで）

		全体	問1(イ)年齢						
			20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳 以上	不明
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		1,563	86	159	272	207	317	501	21
問13 生涯学 習活動を充実 するうえで重 要なこと(3つ まで)	町民の学習・文化・スポーツなど 活動施設の整備	50.7	58.1	55.3	61.4	50.2	48.3	44.3	38.1
		792	50	88	167	104	153	222	8
	学校施設の地域への開放の促進	18.5	27.9	30.2	20.6	15.9	14.2	15.8	19.0
		289	24	48	56	33	45	79	4
	施設の利用時間や管理体制など 施設利用の利便化	45.7	44.2	50.3	48.5	50.2	44.2	42.7	28.6
		714	38	80	132	104	140	214	6
	各種講座・教室の内容やテーマの 充実	31.6	29.1	23.3	30.9	42.5	36.6	28.3	9.5
		494	25	37	84	88	116	142	2
	各種講座・教室の開催日、時間、 場所などの改善	21.9	19.8	19.5	26.8	28.5	23.7	17.2	9.5
		343	17	31	73	59	75	86	2
	施設の利用や講座・サークル等に 関する各種情報提供の充実	37.9	30.2	30.8	36.4	40.6	44.2	37.7	28.6
		593	26	49	99	84	140	189	6
	町民の学習成果の発表会や競技 大会、交流会などの充実	8.3	10.5	9.4	6.3	6.3	7.9	10.0	4.8
		130	9	15	17	13	25	50	1
	サークル活動やリーダー養成への 支援強化	11.4	8.1	8.8	9.9	9.2	13.2	13.2	14.3
178		7	14	27	19	42	66	3	
各種指導員の増員など指導体制の 充実	14.7	8.1	13.2	9.9	10.6	14.5	20.0	33.3	
	230	7	21	27	22	46	100	7	
イベント(祭りや行事、大会など)の 充実、開発	19.2	33.7	31.4	22.4	17.4	17.7	13.0	14.3	
	300	29	50	61	36	56	65	3	
その他	2.2	0.0	1.9	1.1	1.0	3.8	2.8	0.0	
	34	0	3	3	2	12	14	0	
不明	6.4	1.2	1.9	2.2	3.4	4.7	12.4	28.6	
	100	1	3	6	7	15	62		

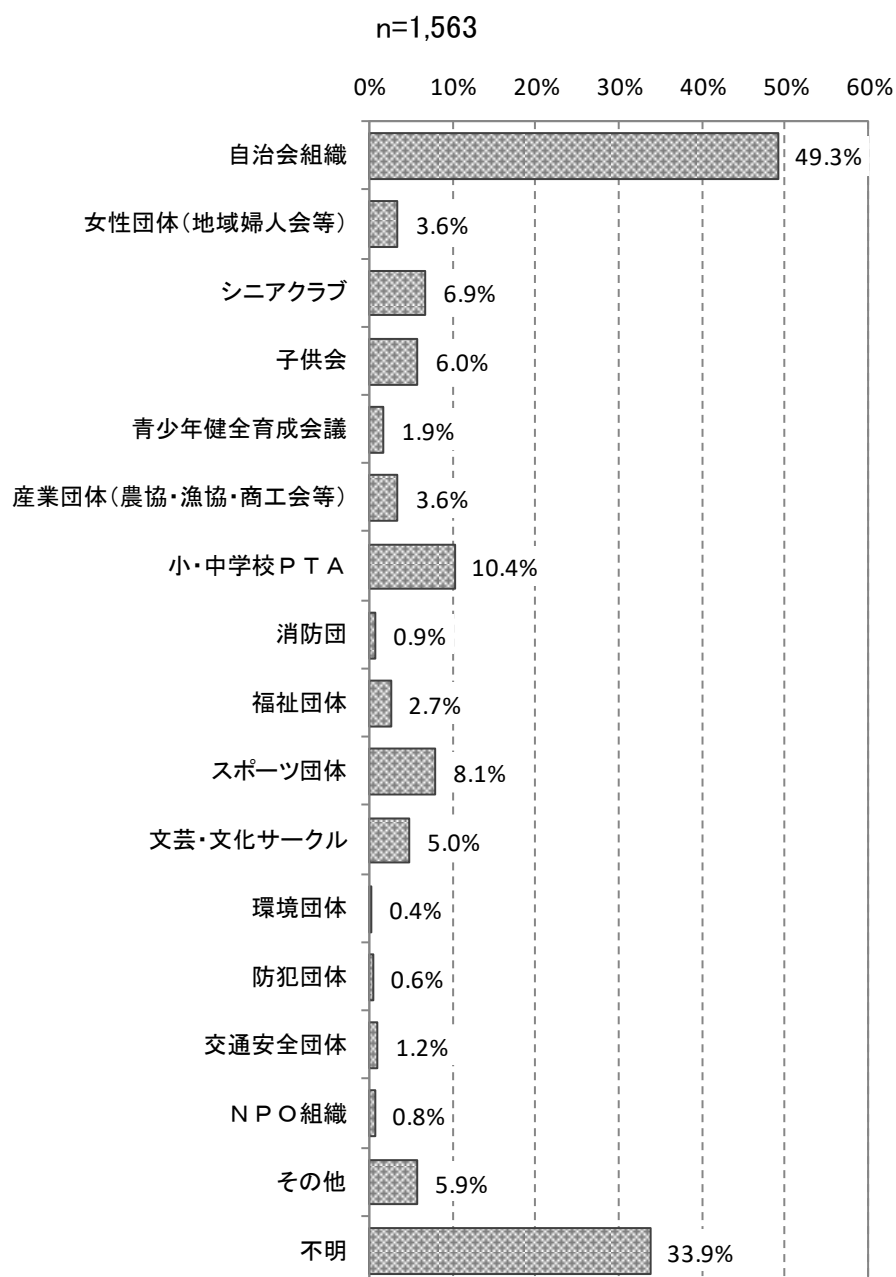
【生涯学習活動を充実するうえで重要なこと：第1位】



問 14 加入または所属している組織や団体

加入または所属している団体については、「自治会組織」が49.3%と突出して高く、ついで「小・中学校PTA」が10.4%、それ以外の団体は10%を下回っています。

年齢別にみると、20歳代は「自治会組織」が16.3%と、加入率が低くなっています。30歳代～40歳代では「小・中学校PTA」「子供会」、70歳以上では「シニアクラブ」（18.2%）の加入率が他の年齢層に比べて高くなっています。



(回答は該当するものすべて)

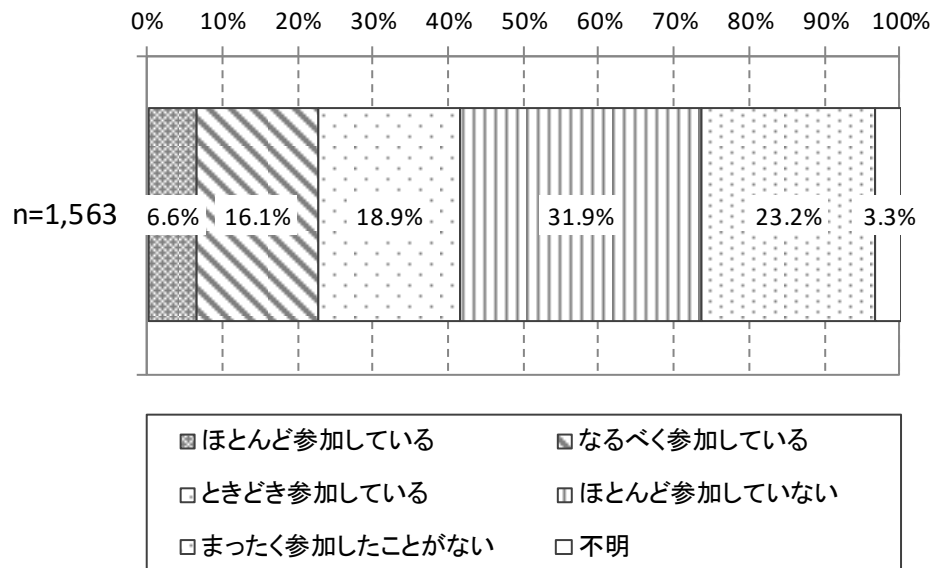
【加入または所属している組織や団体】

	全体	問1(イ)年齢						
		20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳 以上	不明
合計	100.0 1,563	100.0 86	100.0 159	100.0 272	100.0 207	100.0 317	100.0 501	100.0 21
問14 加入または所属している組織や団体(複数回答)	自治会組織	49.3 771	16.3 14	35.8 57	45.6 124	59.9 124	53.0 168	28.6 278
	女性団体(地域婦人会等)	3.6 57	0.0 0	0.0 0	2.2 6	5.8 12	3.8 12	0.0 27
	シニアクラブ	6.9 108	1.2 1	0.0 0	0.0 0	0.5 1	3.5 11	19.0 91
	子供会	6.0 94	1.2 1	15.7 25	19.9 54	3.9 8	1.3 4	0.0 2
	青少年健全育成会議	1.9 29	0.0 0	0.6 1	1.8 5	2.4 5	2.5 8	0.0 10
	産業団体 (農協・漁協・商工会等)	3.6 56	0.0 0	1.9 3	2.6 7	3.9 8	3.5 11	0.0 27
	小・中学校PTA	10.4 162	3.5 3	27.0 43	34.6 94	8.2 17	0.9 3	0.0 2
	消防団	0.9 14	2.3 2	1.3 2	1.8 5	1.0 2	0.3 1	0.0 2
	福祉団体	2.7 42	1.2 1	0.0 0	0.7 2	3.4 7	3.5 11	4.8 20
	スポーツ団体	8.1 127	8.1 7	9.4 15	7.0 19	6.3 13	8.8 28	0.0 45
	文芸・文化サークル	5.0 78	0.0 0	0.0 0	2.2 6	2.9 6	6.3 20	14.3 43
	環境団体	0.4 7	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.6 2	0.0 5
	防犯団体	0.6 9	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	1.3 4	0.0 5
	交通安全団体	1.2 18	0.0 0	2.5 4	1.5 4	0.0 0	1.3 4	0.0 6
	NPO組織	0.8 13	0.0 0	0.6 1	0.7 2	0.0 0	1.6 5	4.8 4
	その他	5.9 92	8.1 7	5.7 9	3.3 9	4.3 9	8.2 26	9.5 30
	不明	33.9 530	68.6 59	39.0 62	32.4 88	27.5 57	31.9 101	52.4 152
								11

問 15 地域や町内の活動や行事への参加程度

地域や町内の活動や行事への参加程度については、「ほとんど参加していない」(31.9%)と「まったく参加したことがない」(23.2%)を合わせると、55.1%と過半数の人が“参加していない”と回答しています。

「ほとんど参加している」は6.6%、「なるべく参加している」は16.1%、「ときどき参加している」は18.9%となっています。

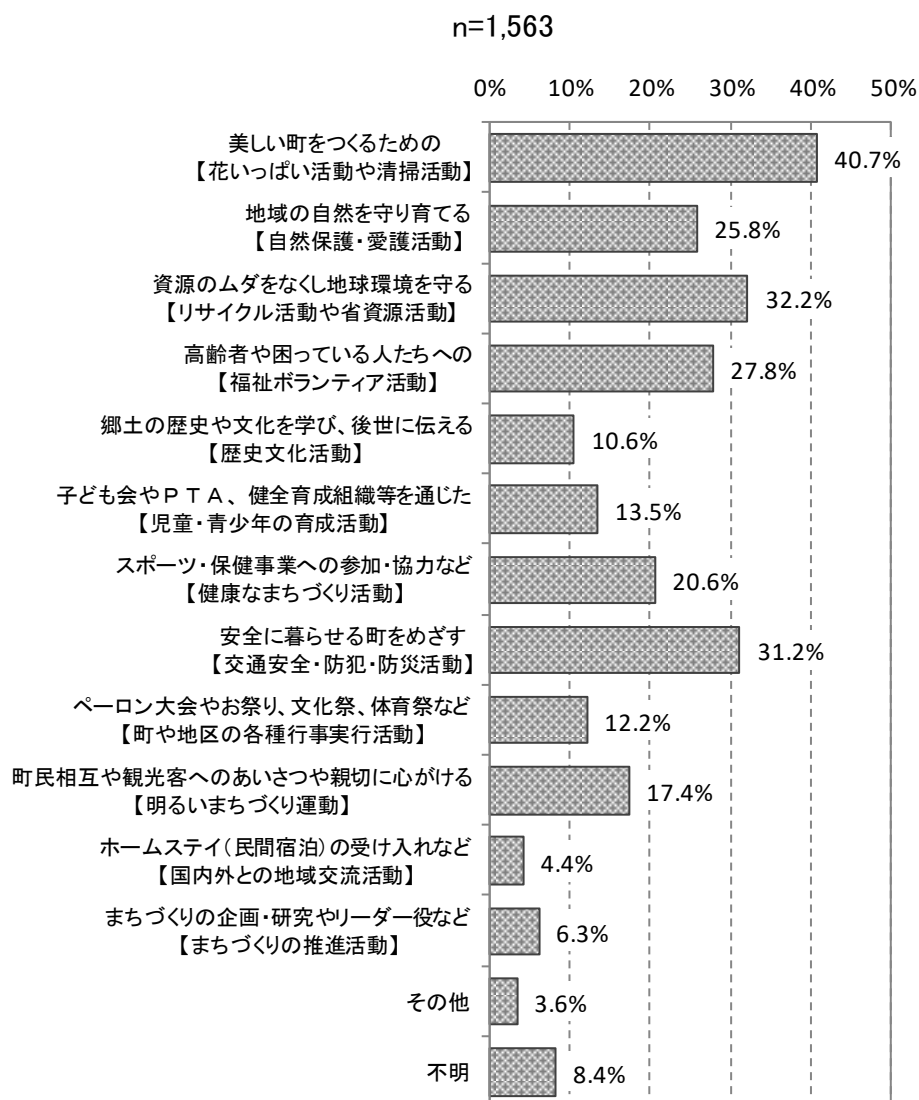


(回答は1つ)

		全体	問1(イ)年齢						
			20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	不明
合計		100.0 1,563	100.0 86	100.0 159	100.0 272	100.0 207	100.0 317	100.0 501	100.0 21
問15 地域や町内の活動や行事への参加程度	ほとんど参加している	6.6 103	3.5 3	3.1 5	5.9 16	6.8 14	5.0 16	9.6 48	4.8 1
	なるべく参加している	16.1 252	9.3 8	18.9 30	16.5 45	12.1 25	14.5 46	18.8 94	19.0 4
	ときどき参加している	18.9 295	2.3 2	15.7 25	19.1 52	19.3 40	19.9 63	21.6 108	23.8 5
	ほとんど参加していない	31.9 499	27.9 24	32.1 51	32.4 88	42.5 88	34.7 110	26.3 132	28.6 6
	まったく参加していない	23.2 362	52.3 45	28.9 46	25.4 69	17.9 37	23.0 73	18.2 91	4.8 1
	不明	3.3 52	4.7 4	1.3 2	0.7 2	1.4 3	2.8 9	5.6 28	19.0 4

問 16 まちづくりのために参加したい(できる)活動

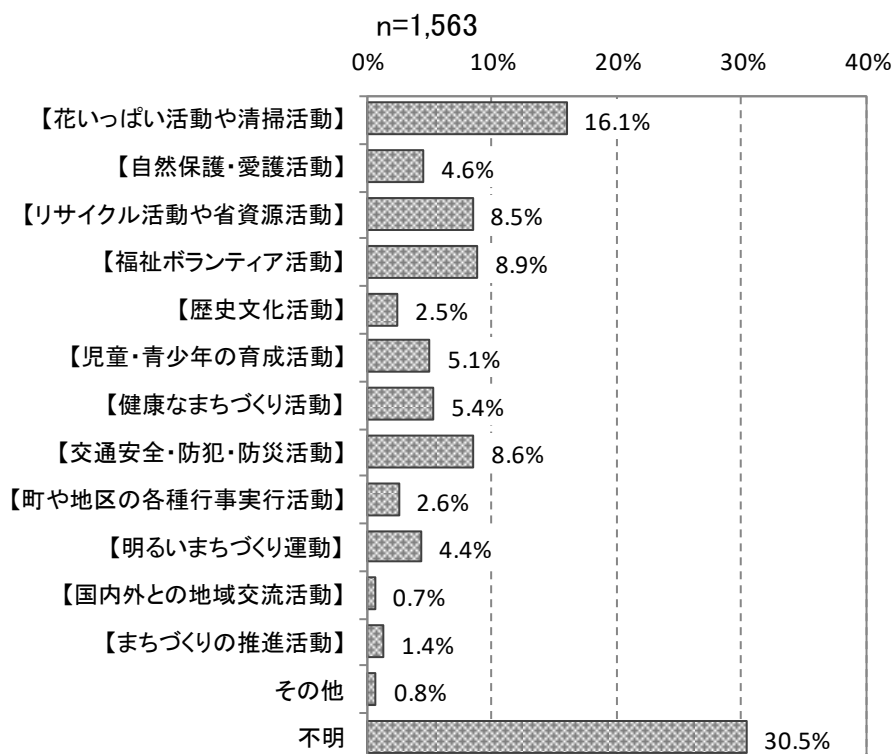
まちづくりのために参加したい(できる)活動については、「美しい町をつくるための【花いっぱい活動や清掃活動】」が40.7%で最も高く、ついで「資源のムダをなくし地球環境を守る【リサイクル活動や省資源活動】」(32.2%)、「安全に暮らせる町をめざす【交通安全・防犯・防災活動】」(31.2%)と続いています。



(回答は3つまで)

	全体	問1(イ)年齢						
		20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	不明
合計	100.0 1,563	100.0 86	100.0 159	100.0 272	100.0 207	100.0 317	100.0 501	100.0 21
問16 まちづくりのために参加したい(できる)活動(3つまで)	美しい町をつくるための【花いっぱい活動や清掃活動】	40.7 636	34.9 30	33.3 53	39.7 108	42.5 88	44.8 142	38.1 207
	地域の自然を守り育てる【自然保護・愛護活動】	25.8 404	20.9 18	15.7 25	22.8 62	30.0 62	29.0 92	14.3 142
	資源のムダをなくし地球環境を守る【リサイクル活動や省資源活動】	32.2 503	27.9 24	24.5 39	28.7 78	39.1 81	35.6 113	23.8 163
	高齢者や困っている人たちへの【福祉ボランティア活動】	27.8 435	24.4 21	22.0 35	23.2 63	30.0 62	33.4 106	42.9 139
	郷土の歴史や文化を学び、後世に伝える【歴史文化活動】	10.6 166	4.7 4	9.4 15	8.8 24	9.2 19	12.6 40	4.8 63
	子ども会やPTA、健全育成組織等を通じた【児童・青少年の育成活動】	13.5 211	16.3 14	36.5 58	22.8 62	11.1 23	7.9 25	4.8 28
	スポーツ・保健事業への参加・協力など【健康なまちづくり活動】	20.6 322	30.2 26	28.3 45	25.4 69	19.3 40	19.6 62	4.8 79
	安全に暮らせる町をめざす【交通安全・防犯・防災活動】	31.2 488	27.9 24	35.2 56	33.1 90	32.4 67	35.6 113	23.8 133
	ペーロン大会やお祭り、文化祭、体育祭など【町や地区の各種行事実行活動】	12.2 191	19.8 17	23.3 37	12.1 33	11.1 23	10.1 32	4.8 48
	町民相互や観光客へのあいさつや親切に心がける【明るいまちづくり運動】	17.4 272	23.3 20	20.8 33	21.7 59	19.8 41	14.2 45	14.3 71
	ホームステイ(民間宿泊)の受け入れなど【国内外との地域交流活動】	4.4 69	9.3 8	10.1 16	6.6 18	4.3 9	3.2 10	0.0 8
	まちづくりの企画・研究やリーダー役など【まちづくりの推進活動】	6.3 99	11.6 10	7.5 12	8.5 23	6.8 14	7.3 23	3.2 16
	その他	3.6 57	3.5 3	2.5 4	2.9 8	1.9 4	2.8 9	5.6 28
	不明	8.4 132	3.5 3	2.5 4	2.9 8	3.9 8	7.6 24	15.6 78

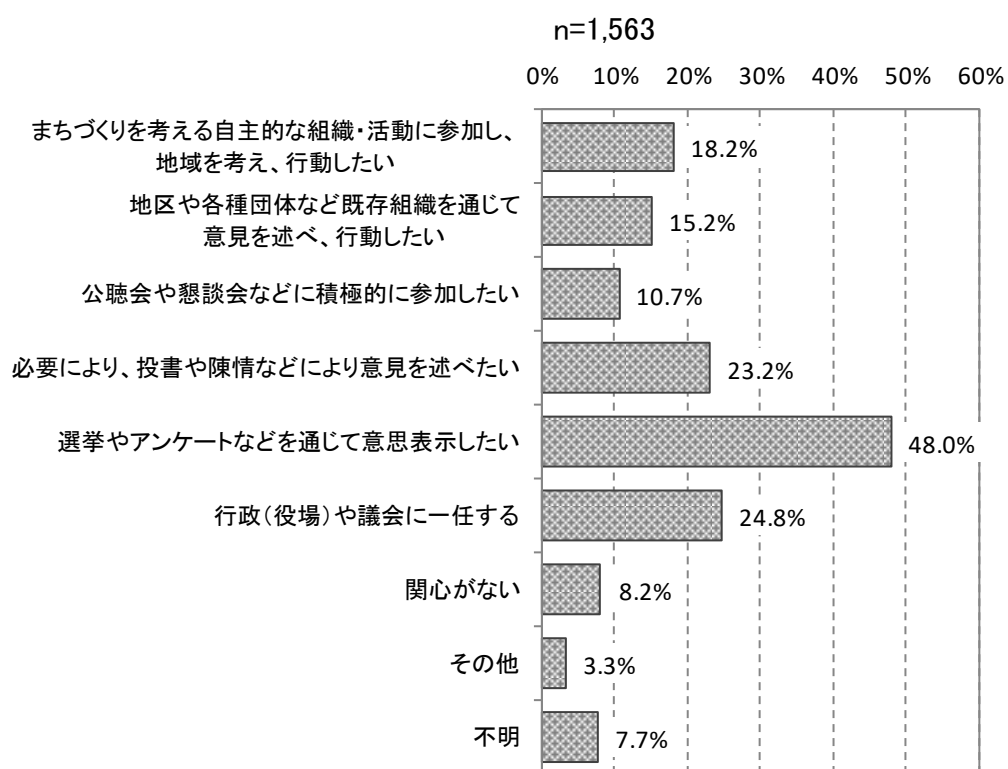
【まちづくりのために参加したい(できる)活動：第1位】



問 17 まちづくりへの参加方法

まちづくり（町政）への参加方法については、「選挙やアンケートなどを通じて意思表示したい」が48.0%で最も高く、ついで「行政（役場）や議会に一任する」が24.8%、「必要により、投書や陳情などにより意見を述べたい」が23.2%と続いています。

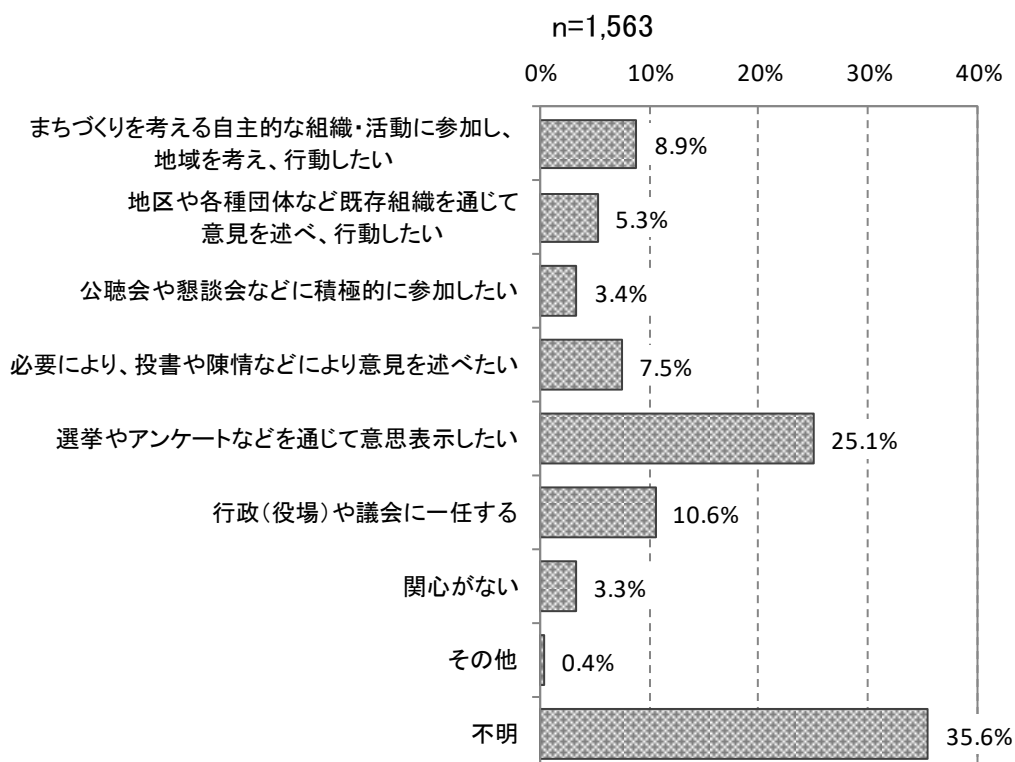
年齢別にみると、年齢が高くなるほど「選挙やアンケートなどを通じて意思表示したい」と回答する人の割合は低くなり、一方で「行政（役場）や議会に一任する」と回答する人の割合は高くなっています。



（回答は2つまで）

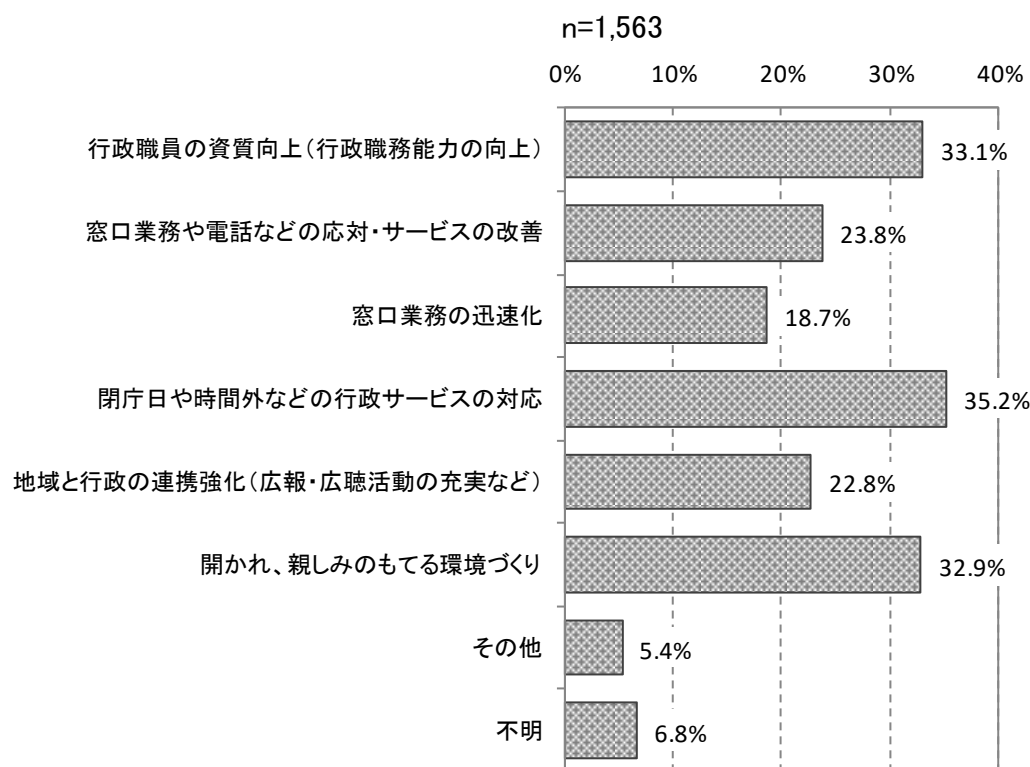
		全体	問1(イ)年齢						
			20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳 以上	不明
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		1,563	86	159	272	207	317	501	21
問17 まちづくりへの参加方法(2つまで)	まちづくりを考える自主的な組織・活動に参加し、地域を考え、行動したい	18.2	17.4	19.5	21.7	14.0	21.1	16.2	9.5
		284	15	31	59	29	67	81	2
	地区や各種団体など既存組織を通じて意見を述べ、行動したい	15.2	10.5	16.4	17.6	15.0	14.5	15.2	9.5
		238	9	26	48	31	46	76	2
	公聴会や懇談会などに積極的に参加したい	10.7	7.0	5.7	6.6	11.1	12.0	14.0	14.3
		167	6	9	18	23	38	70	3
	必要により、投書や陳情などにより意見を述べたい	23.2	24.4	28.3	34.9	27.1	22.4	14.2	14.3
		362	21	45	95	56	71	71	3
	選挙やアンケートなどを通じて意思表示したい	48.0	59.3	59.1	55.1	49.8	48.3	38.5	33.3
		751	51	94	150	103	153	193	7
	行政(役場)や議会に一任する	24.8	15.1	23.3	18.4	23.2	27.1	29.7	19.0
		387	13	37	50	48	86	149	4
	関心がない	8.2	14.0	8.2	6.6	10.1	7.6	7.8	4.8
		128	12	13	18	21	24	39	1
	その他	3.3	0.0	1.3	1.5	1.0	4.1	6.0	0.0
		51	0	2	4	2	13	30	0
	不明	7.7	3.5	2.5	1.5	4.3	6.9	14.2	33.3
		120	3	4	4	9	22	71	7

【まちづくりへの参加方法：第1位】



問 18 行政運営に対する要望

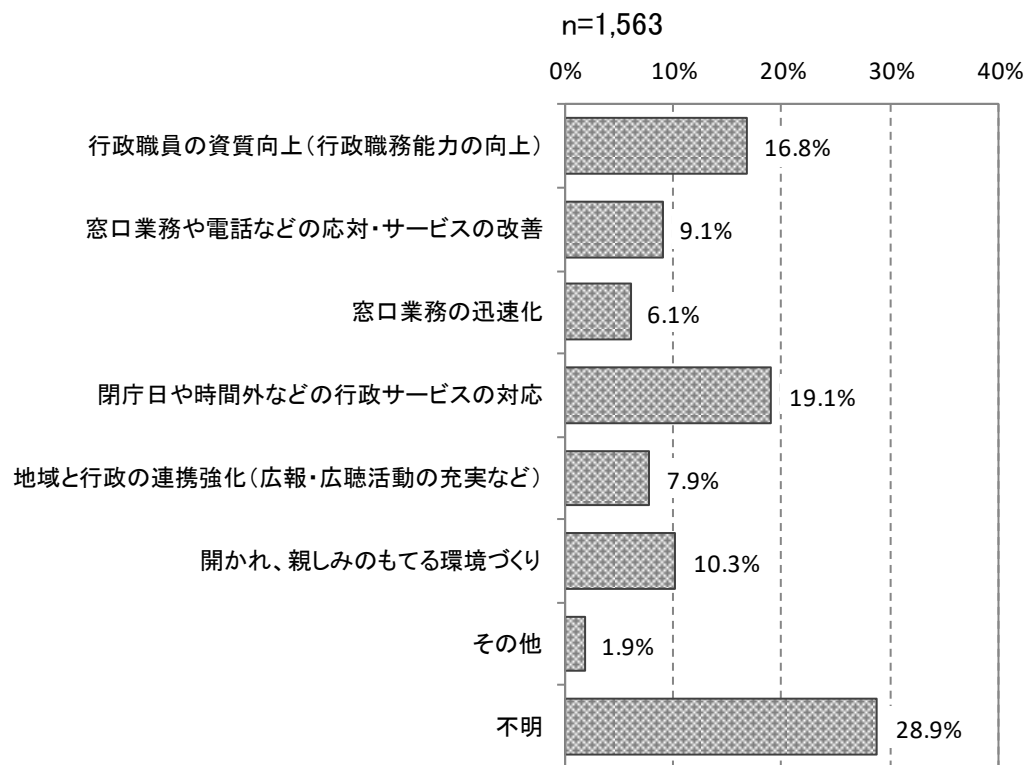
行政運営に対する要望については、「閉庁日や時間外などの行政サービスの対応」が35.2%で最も高く、ついで「行政職員の資質向上（行政職務能力の向上）」が33.1%、「開かれ、親しみのもてる環境づくり」が32.9%と30%台で続いています。



(回答は2つまで)

	全体	問1(イ)年齢							
		20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳 以上	不明	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	1,563	86	159	272	207	317	501	21	
問18 行政運営に対する要望(2つまで)	行政職員の資質向上 (行政職務能力の向上)	33.1	15.1	30.2	30.5	36.7	36.0	35.7	19.0
		517	13	48	83	76	114	179	4
	窓口業務や電話などの 応対・サービスの改善	23.8	25.6	26.4	26.1	23.7	24.3	20.8	33.3
		372	22	42	71	49	77	104	7
	窓口業務の迅速化	18.7	17.4	20.8	19.9	20.3	18.9	17.2	14.3
		293	15	33	54	42	60	86	3
	閉庁日や時間外などの 行政サービスの対応	35.2	44.2	47.2	50.4	43.0	32.8	20.2	28.6
		550	38	75	137	89	104	101	6
	地域と行政の連携強化広報・ 広聴活動の充実など	22.8	20.9	22.6	17.6	23.2	24.6	25.5	4.8
		357	18	36	48	48	78	128	1
開かれ、親しみのもてる 環境づくり	32.9	37.2	22.0	28.7	30.0	34.7	38.3	28.6	
	515	32	35	78	62	110	192	6	
その他	5.4	4.7	6.9	6.3	4.8	5.4	5.2	0.0	
	85	4	11	17	10	17	26	0	
不明	6.8	4.7	1.9	1.1	2.4	6.0	13.4	28.6	
	107	4	3	3	5	19	67		

【行政運営に対する要望：第1位】

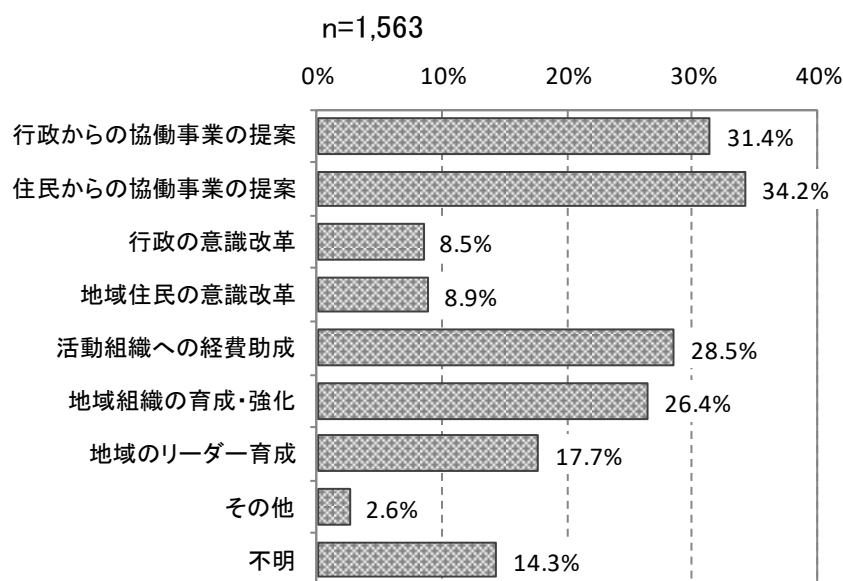


問 19 行政との協働活動の充実のために必要なこと

今後、行政との協働活動の充実のために必要なことについては、「住民からの協働事業の提案」が 34.2%で最も高く、ついで「行政からの協働事業の提案」が 31.4%、「活動組織への経費助成」が 28.5%と続いています。

優先順位をみると、第1位は「行政からの協働事業の提案」が 17.8%で最も高くなっています。

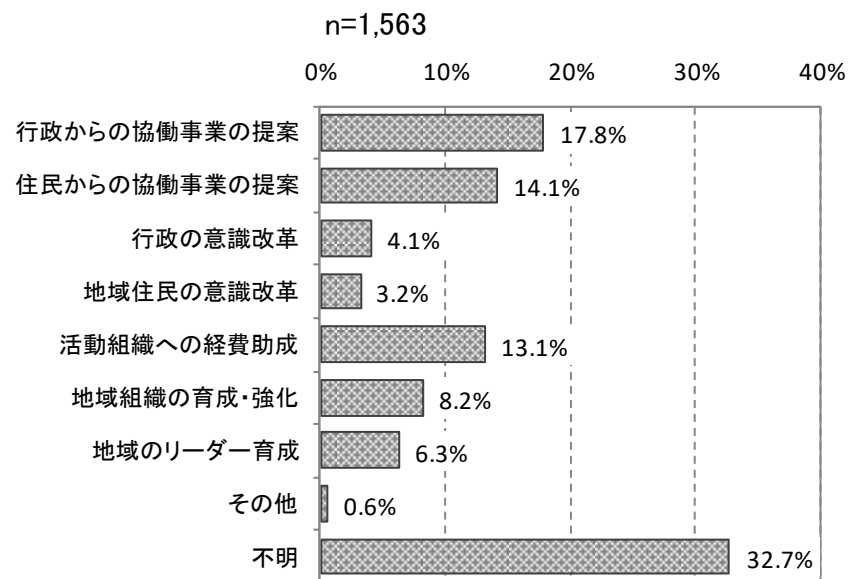
年齢別にみると、20歳代は「行政からの協働事業の提案」が 43.0%と他の年齢層に比べて高くなっています。



(回答は2つまで)

		全体	問1(イ)年齢						
			20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	不明
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		1,563	86	159	272	207	317	501	21
問19 行政との共同活動の充実のために必要なこと(2つまで)	行政からの協働事業の提案	31.4	43.0	34.0	34.6	35.7	27.4	28.5	9.5
		491	37	54	94	74	87	143	2
	住民からの協働事業の提案	34.2	40.7	35.2	44.1	34.8	34.7	27.5	19.0
		535	35	56	120	72	110	138	4
	行政の意識改革	8.5	5.8	8.2	8.1	10.1	11.7	6.6	9.5
		133	5	13	22	21	37	33	2
	地域住民の意識改革	8.9	9.3	12.6	9.6	8.7	11.0	6.0	9.5
		139	8	20	26	18	35	30	2
	活動組織への経費助成	28.5	30.2	35.2	33.1	30.9	25.9	24.6	19.0
		445	26	56	90	64	82	123	4
	地域組織の育成・強化	26.4	24.4	23.9	26.8	22.2	31.5	25.7	28.6
		413	21	38	73	46	100	129	6
	地域のリーダー育成	17.7	9.3	13.8	15.1	15.5	16.7	23.4	14.3
		276	8	22	41	32	53	117	3
	その他	2.6	3.5	0.6	1.8	4.3	3.5	2.2	0.0
		40	3	1	5	9	11	11	0
	不明	14.3	7.0	10.7	5.9	9.2	12.9	23.0	42.9
		223	6	17	16	19	41	115	9

【行政との協働活動の充実のために必要なこと：第1位】



問 20 郷土の誇りや宝(自由意見)

【時津町の誇り・宝】

具体的な回答は 804 件あり、最も多かったのは「さばくさらかし岩（継石坊主）」の 283 件です。ついで「大村湾・時津港（海や海岸）」（104 件）、「住民・コミュニティ（温かさ、親切、挨拶など）」（87 件）、「豊かな自然」（86 件）、「安心感・住み良さ（安全性、利便性など）」（66 件）などが続いています。

【来訪者を案内する町内の場所】

具体的な回答は 708 件あり、「さばくさらかし岩（継石坊主）」が 186 件で最も多く、ついで「崎野自然公園」（162 件）、「ウォーターフロント公園」（109 件）、「大村湾・時津港（海や海岸）」（44 件）、「日並郷 10 工区やイオンなどの商業施設」（42 件）などが続いています。

【お土産として用意するもの】

具体的な回答は 999 件あり、「時津まんじゅう」が 680 件と圧倒的に多く、ついで「ぶどう・巨峰」が 282 件と、時津まんじゅうとぶどう（巨峰）で大半を占めます。その他、「みかん」「ワイン」「海産物（なまこ、牡蠣、魚など）」が上位にあがっています。

誇り・宝		案内する場所		お土産	
さばくさらかし岩	283 件	さばくさらかし岩	186 件	時津まんじゅう	680 件
大村湾・時津港	104 件	崎野自然公園	162 件	ぶどう・巨峰	282 件
住民・コミュニティ	87 件	ウォーターフロント公園	109 件	みかん	87 件
豊かな自然	86 件	大村湾・時津港	44 件	ワイン	42 件
安心感・住み良さ	66 件	商業施設	42 件	海産物	34 件
その他	53 件	その他	129 件	その他	32 件
計	804 件	計	708 件	計	999 件

問 21 第5次総合計画の施策に対する満足度

第5次総合計画は、6分野 38 施策で構成されています。

分野別にみると、「にぎわいと住みやすさのあるまちを創る」「安全で安心な美しいまちを創る」の2分野の満足度が比較的高くなっています。

施策別にみると、「満足」と「やや満足」を合わせて 50%を超えているのは「ごみの再資源化、リサイクルの推進」（65.5%）の1施策のみとなっています。

分野ごとにみると以下のような結果となっています。

【にぎわいと住みやすさのあるまちを創る】

「ごみの再資源化、リサイクルの推進」（65.5%）について、「快適な市街地及び住環境の整備」（43.5%）の満足度も比較的高くなっています。

その他の施策も概ね 30%台の満足度は得ていますが、「快適で安全な道路環境づくり」（28.3%）は他の施策に比べてやや低く、「不満」と「やや不満」を合わせた不満度が 29.4%で満足度と同程度の割合となっています。

【活力と夢のあるまちを創る】

各施策とも 20～30%の満足度を得ています。その中でも「商業の振興」（38.1%）、「観光資源の整備・活用」（37.1%）が高くなっています。

【健やかで笑顔のあるまちを創る】

「健康づくり・保健対策」が 41.6%と満足度が高く、その他の施策も概ね 20～30%の満足度を得ていますが、「障害者福祉の充実」は 16.8%と他の施策に比べて低くなっています。

【安全で安心な美しいまちを創る】

「公園・緑地の整備」（49.0%）、「環境美化・緑化活動の促進」（44.9%）、「美しい街並み景観」（41.6%）の3施策の満足度が 40%台で高くなっています。

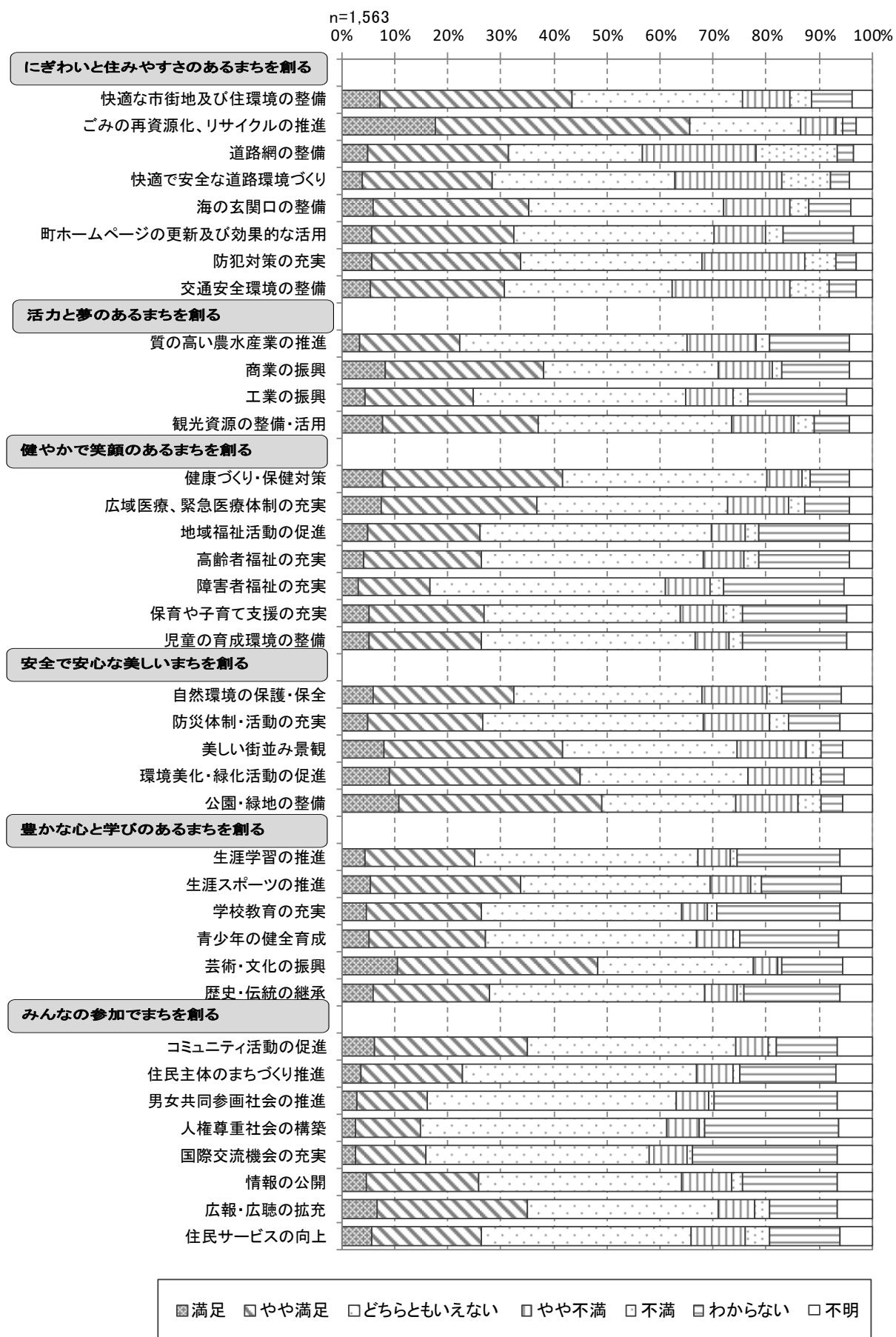
【豊かな心と学びのあるまちを創る】

「芸術・文化の振興」（48.4%）について、「生涯スポーツの推進」（33.7%）の満足度も比較的高くなっています。

その他の施策は 20%台となっています。

【みんなの参加でまちを創る】

「人権尊重社会の構築」（15.0%）、「国際交流機会の充実」（15.8%）、「男女共同参画社会の推進」（16.2%）、など比較的満足度の低い施策が多くなっていますが、その他の施策は 20～30%の満足度を得ています。



【第5次総合計画の施策に対する満足度】

	n	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	わからない	不明
にぎわいと住みやすさのあるまちを創る								
1.快適な市街地及び住環境の整備	1,563	7.2%	36.3%	32.0%	8.9%	4.2%	7.7%	3.7%
2.ごみの再資源化、リサイクルの推進	1,563	17.8%	47.7%	20.9%	6.6%	1.4%	2.6%	2.9%
3.道路網の整備	1,563	5.1%	26.4%	25.2%	21.6%	15.2%	3.2%	3.4%
4.快適で安全な道路環境づくり	1,563	3.9%	24.4%	34.5%	20.1%	9.3%	3.6%	4.2%
5.海の玄関口の整備	1,563	6.1%	29.2%	36.6%	12.4%	3.8%	7.7%	4.1%
6.町ホームページの更新及び効果的な活用	1,563	5.6%	26.9%	37.7%	9.5%	3.3%	13.3%	3.5%
7.防犯対策の充実	1,563	5.8%	28.0%	34.2%	19.4%	5.8%	3.8%	3.1%
8.交通安全環境の整備	1,563	5.6%	25.1%	31.6%	22.2%	7.3%	5.1%	3.1%
活力と夢のあるまちを創る								
1.質の高い農水産業の推進	1,563	3.5%	18.7%	42.8%	13.1%	2.6%	14.8%	4.4%
2.商業の振興	1,563	8.2%	29.9%	32.8%	10.2%	2.0%	12.5%	4.4%
3.工業の振興	1,563	4.4%	20.6%	40.0%	8.9%	2.7%	18.8%	4.7%
4.観光資源の整備・活用	1,563	7.7%	29.4%	36.4%	11.9%	3.8%	6.5%	4.4%
健やかで笑顔のあるまちを創る								
1.健康づくり・保健対策	1,563	7.8%	33.8%	38.5%	6.7%	1.5%	7.3%	4.3%
2.広域医療、緊急医療体制の充実	1,563	7.6%	29.4%	35.8%	11.5%	3.2%	8.4%	4.2%
3.地域福祉活動の促進	1,563	5.0%	21.2%	43.4%	6.5%	2.6%	16.9%	4.4%
4.高齢者福祉の充実	1,563	4.2%	22.2%	41.9%	7.5%	2.8%	17.2%	4.2%
5.障害者福祉の充実	1,563	3.1%	13.7%	44.1%	8.4%	2.6%	22.8%	5.2%
6.保育や子育て支援の充実	1,563	5.2%	21.7%	37.0%	8.1%	3.6%	19.6%	4.9%
7.児童の育成環境の整備	1,563	5.2%	21.2%	40.3%	6.3%	2.6%	19.4%	4.9%
安全で安心な美しいまちを創る								
1.自然環境の保護・保全	1,563	6.0%	26.5%	35.4%	12.3%	2.8%	11.4%	5.7%
2.防災体制・活動の充実	1,563	5.1%	21.6%	41.5%	12.6%	3.6%	9.7%	6.0%
3.美しい街並み景観	1,563	8.1%	33.5%	32.9%	13.1%	2.8%	3.9%	5.6%
4.環境美化・緑化活動の促進	1,563	9.1%	35.8%	31.7%	11.8%	2.0%	4.2%	5.3%
5.公園・緑地の整備	1,563	10.9%	38.1%	25.4%	11.8%	4.2%	4.1%	5.6%
豊かな心と学びのあるまちを創る								
1.生涯学習の推進	1,563	4.5%	20.7%	41.8%	6.2%	1.2%	19.4%	6.1%
2.生涯スポーツの推進	1,563	5.6%	28.1%	35.9%	7.7%	2.0%	15.0%	5.8%
3.学校教育の充実	1,563	4.8%	21.6%	37.6%	4.9%	1.8%	23.2%	6.1%
4.青少年の健全育成	1,563	5.1%	22.1%	39.8%	6.8%	1.2%	18.7%	6.3%
5.芸術・文化の振興	1,563	10.7%	37.7%	29.3%	4.4%	0.9%	11.4%	5.6%
6.歴史・伝統の継承	1,563	6.0%	22.0%	40.5%	6.1%	1.3%	18.2%	6.0%
みんなの参加でまちを創る								
1.コミュニティ活動の促進	1,563	6.3%	28.8%	39.3%	6.0%	1.7%	11.3%	6.7%
2.住民主体のまちづくり推進	1,563	3.8%	19.1%	44.0%	6.8%	1.4%	18.0%	6.8%
3.男女共同参画社会の推進	1,563	2.9%	13.3%	47.0%	6.1%	1.0%	23.2%	6.5%
4.人権尊重社会の構築	1,563	2.8%	12.2%	46.4%	6.0%	1.1%	25.1%	6.4%
5.国際交流機会の充実	1,563	2.6%	13.2%	42.2%	7.1%	1.1%	27.1%	6.6%
6.情報の公開	1,563	4.7%	21.1%	38.3%	9.5%	2.1%	17.8%	6.5%
7.広報・広聴の拡充	1,563	6.8%	28.2%	36.0%	7.0%	2.7%	12.8%	6.5%
8.住民サービスの向上	1,563	5.8%	20.5%	39.5%	10.3%	4.5%	13.3%	6.1%

問 22 まちづくりに対するアイデアや提案(自由意見)

まちづくりに対するアイデアや提案について、記入いただいた自由意見を次の7領域に分類しました。

- ◇にぎわいと住みやすさのあるまちづくり(282件)
- ◇活力と夢のあるまちを創る(115件)
- ◇健やかで笑顔のあるまちを創る(100件)
- ◇安全で安心な美しいまちを創る(80件)
- ◇豊かな心と学びのあるまちを創る(54件)
- ◇みんなの参加でまちを創る(123件)
- ◇その他(94件)

本アンケートの回答者 1,563 人に対し、自由意見の記入は 32.5%にあたる 508 人で、意見総数は 1,156 件でした。

■にぎわいと住みやすさのあるまちを創る(282件)

○快適で安全な交通環境が整ったまちづくり(200件)

交通環境の意見のうち、「交通渋滞の緩和とそのための道路網の整備」(135件)が67.5%を占めています。

その他、「公共交通機関の充実」(27件)として「バスの増便・路線の拡大」への意見が多くなっています。

その他、「新しい交通システムの導入」「小型バスなど巡回バスの導入」などの意見や「駐車場の増設」といった意見がみられました。

○快適で安全な道路環境が整ったまちづくり(49件)

快適で安全な「道路の整備」、誰もが安全で安心して歩くことができる「歩道の整備」、高齢者の免許返納後の移動手段や健康意識の高まりから今後自転車の利用が増える見込みから「自転車道の整備」への意見が主となっています。

○住みやすいまちづくり(38件)

住環境の意見のうち、野良犬や野良猫への対策、ペットの糞尿を放置する飼い主のマナーへの対応、野生イノシシへの対応など「野生動物・ペットへの対応」(7件)、昼間の工事や夜間の若者に対する「騒音問題」(7件)、「焼却による臭い・煙への対応」(5件)への意見が比較的多くみられました。

○快適な住環境が整ったまちづくり（34 件）

住環境の意見のうち、ごみ袋価格の引き下げ、ごみ収集場所の増設、ごみ収集回数・分別の見直し、リサイクル回収回数の見直しなど「ごみ分別収集の充実、リサイクルの推進」（20 件）、「上下水道の整備」（6 件）への意見が比較的多く、その他、「区画整理・市街地整備」や「住宅や宅地の整備」、「町営住宅の増設」などの土地利用に関する意見がありました。

○交通安全環境の整ったまちづくり（31 件）

事故防止のため「信号機や横断歩道、ガードレールの設置・増設」「通学路の安全対策」「カーブミラーの設置」などの意見があり、信号機や横断歩道、ガードレールや道路標識等、設置のみでなく既存の補修や整備の要望も多くみられます。

○防犯対策が充実したまちづくり（22 件）

「街灯や防犯カメラの設置・増設」への意見が主で、夜間に商店や街灯の明かりがない道に対する不安の声がみられました。

■ 活力と夢のあるまちを創る（115 件）

○観光の盛んなまちづくり（61 件）

「さばくらかし岩周辺の整備」（9 件）を主にした「既存観光地の整備・PR」（17 件）の意見が多くみられましたが、その他に幅広い世代の住民が利用したくなる新たな観光地として「公園の増設・充実」（16 件）、「海・海岸・港の観光資源化」（10 件）などの意見もありました。

○商業が盛んなまちづくり（48 件）

「ショッピングモールなど大型商業施設の充実」（14 件）への意見が多くなっていますが、自宅から徒歩圏内に日用品を購入できるようなスーパーなど「身近で買い物ができる店の充実」（9 件）といった意見もありました。

その他、若い世帯の利用を目的とした映画館やスポーツ施設といった複合エンタテインメント施設など「娯楽施設の充実」（10 件）、それらを充実させるために必要となる「企業誘致の推進」（20 件）などの意見も多くなっています。

上記の他、「町内就業先の確保」、「特産品の充実・PR」、「農水産業の推進」などの意見がありました。

■ 健やかで笑顔のあるまちを創る(100 件)

○子育てしやすい町づくり(50 件)

子どもの遊び場の確保のための「公園遊具や設備の充実・補修」や雨の日でも楽しめる「室内施設の充実」、延長保育や病後児保育など「病児保育の充実」への要望が多くなっています。

○高齢者福祉の充実(38 件)

時津町周辺の自治体で導入されている「バスやタクシーのチケット配布の導入・拡大」、高齢者同士や他の世代や社会との関わりを安価に提供できるような「集いの場づくり」「介護施設の充実」が主な意見となっています。

上記の他、“小児科医の充実”“インフルエンザ予防接種の無料化”など「救急医療体制の充実・医療機関の設置」(19 件)、「障害者福祉の充実」(7 件)などの意見がありました。

■ 安全で安心な美しいまちを創る(80 件)

“緑化・植栽活動”“街路樹などの剪定・除草”など「環境美化・緑化活動の促進」(32 件)、“遊具の安全管理”“清掃美化活動”など「公園環境の管理状況」(26 件)、“防災無線を聞きやすくしてほしい”“防災無線を各戸に設置”など「防災に強いまちづくり」(21 件)への意見が若干多くなっています。

その他、「自然環境の保護・保善」(13 件)などの意見がありました。

■ 豊かな心と学びのあるまちを創る(54 件)

“施設の充実・設置”“ウォーキング・ジョギングコースの整備”“健康器具の充実”など「生涯スポーツ環境の整備」(24 件)、「学校教育の充実」(13 件)、“スポーツ・文化事業、イベント”“芸術・文化の振興や歴史・伝統の継承”“部活動などの大会誘致”など「青少年の健全育成事業の充実」(13 件)への意見が多くなっています。

その他、“図書館の施設・サービスの充実”“図書館と書店・レストランなどが融合した魅力ある施設の設置”など「生涯学習環境の整備」(8 件)などの意見がありました。

■ みんなの参加でまちを創る（123 件）

○住民サービスの向上（50 件）

役所各窓口や児童館及び関連施設の職員の接客態度など「職員の対応の向上」が多くみられました。その他、水道料金を主とした「税金・公共料金の引き下げ」、様々な利用者のニーズを満たす「土・日・祝日の開庁」「コンビニ対応サービスの拡充」、インターネットでの公開や配布場所の拡充・掲載内容の見直しなど「広報やぎっちゅなどの配布物の見直し」、「働く世代へのサービス充実」への意見が多くなっています。

○地域コミュニティが充実したまちづくり（42 件）

「イベント・行事や定期的な町民活動」、「自治会の活用」への意見が多く、いずれも、今後の加入促進のためにも“頻度や強制力の見直し”“加入者や役員の負担の軽減”といった現状を懸念する意見がみられました。

○住民が参加しやすい環境づくり（37 件）

「まちづくり情報の共有化」「住民の意見を聴くようにする」「心身ともに元気な高齢者や団塊世代の活用」などの意見がありました。

○行財政の見直し、財政源の確保（8 件）

今後も充実したサービスを安定供給するために「移住者の確保と定住化」を目標とした意見が多くなっており、具体的には“近隣市町村”“若い世代や子育て世代”をターゲットに今後の時津町の福祉サービスを見直すべきとの意見が多くみられました。

■ その他（94 件）

その他の内容は様々ですが、本調査の対象抽出、設問や選択肢など「アンケート調査」に関する意見がやや多くなっています。

その他、「近隣市町村との合併」「近隣市町村と協力したまちづくり」「国・県・近隣市町村とは違う時津町独自のまちづくり」などまちづくりの方向や、「満足しています、感謝しています」「商業施設が増えたことで生活しやすくなった」などの意見がありました。

第3章 資料編

1. 属性別クロス分析

属性別クロス分析は、「年齢」については第2章で掲載しているので、ここでは、「性別」「職業別」「居住地区別」「居住年数別」の4つの属性について整理します。

① 性別

すべての項目において、性別による大きな違いはありませんが、強いてあげるなら以下の項目で、若干の男女差がみられます。

1) 問7 望む町の将来像

将来の時津町がどのようなイメージの町になることを望むかについては、男女ともに「便利で快適に暮らせる町」「健康で安心して暮らせる町」が上位にあげられています。

その他、男性は「活力ある産業の町（経済的に豊かな町）」をあげる人の割合が31.0%と女性に比べて高くなっています。

問7 望む町の将来像(2つまで)	全体 (n=1,563)	問1(ア)性別		
		男性 (n=645)	女性 (n=831)	無回答 (n=87)
美しい自然環境に囲まれた、花と緑がいっぱいの町	21.5%	18.8%	23.5%	23.0%
活力ある産業の町(経済的に豊かな町)	25.0%	31.0%	20.1%	27.6%
多くの人を訪れる観光・交流の町	4.4%	5.3%	3.7%	3.4%
便利で快適に暮らせる町	65.4%	64.2%	68.2%	47.1%
健康で安心して暮らせる町	51.1%	47.3%	53.8%	54.0%
教育・文化・スポーツ等の水準の高い町	12.7%	14.4%	12.0%	5.7%
町民同士がふれあい豊に暮らせる町	12.1%	10.7%	12.3%	20.7%
その他	2.6%	3.9%	1.7%	1.1%
無回答	1.5%	0.9%	1.4%	6.9%

2) 問8 今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野

今後時津町が取り組む分野のうち、特に力を注ぐべき分野については、男性は「道路の整備」(62.8%)、女性は「福祉の充実」(57.0%)が最も高くなっています。

その他、女性は「バスなどの公共交通機関の充実」(50.8%)、「犯罪のない安全で安心なまちづくり」(56.2%)をあげる人の割合が高くなっています。

問8 今後のまちづくりで 特に力を注ぐべき分野(5つまで)	全体 (n=1,563)	問1(ア)性別		
		男性 (n=645)	女性 (n=831)	無回答 (n=87)
産業の振興、雇用の場の拡大	34.1%	38.6%	30.4%	35.6%
道路の整備	54.1%	62.8%	48.6%	42.5%
バスなどの公共交通機関の充実	46.1%	40.8%	50.8%	41.4%
市街地や商店街の整備	18.4%	22.9%	14.9%	18.4%
町営住宅や宅地の・整備供給	9.9%	9.9%	9.3%	14.9%
水道や下水道の整備	7.7%	7.9%	7.3%	9.2%
ごみやし尿処理の充実	8.2%	8.7%	7.8%	8.0%
環境保全や公害防止対策の充実	15.4%	15.2%	15.8%	13.8%
公園や広場、遊び場の整備	25.8%	26.7%	25.9%	19.5%
交通安全や消防・防災対策の充実	29.3%	30.7%	28.6%	25.3%
街並景観や緑化など美しいまちづくり	19.2%	18.1%	20.7%	12.6%
犯罪のない安全で安心なまちづくり	50.5%	45.3%	56.2%	35.6%
福祉の充実	53.8%	48.7%	57.0%	60.9%
保健(健康づくり)・医療の充実	36.4%	32.1%	40.6%	28.7%
まちづくりを担う人材の育成・確保	19.8%	23.1%	17.6%	16.1%
教育・文化・スポーツの振興	20.4%	21.7%	20.1%	13.8%
コミュニティの充実(地域活動、集会施設など)	5.8%	5.9%	5.4%	9.2%
内外との交流や国際化の推進	3.6%	4.3%	3.1%	3.4%
その他	2.8%	3.1%	2.5%	2.3%
無回答	2.3%	1.6%	2.0%	10.3%

3) 問9 地域産業振興について特に力を注ぐべき分野

時津町の地域産業の振興について特に力を注ぐべき分野としては、男女ともに「商業の振興」(44.7%、45.4%)が最も高くなっています。

その他、男性は「工場など新たな企業の誘致」をあげる人の割合が37.5%と女性に比べて高くなっています。

問9 地域産業振興について 特に力を注ぐべき分野(2つまで)	全体 (n=1,563)	問1(ア)性別		
		男性 (n=645)	女性 (n=831)	無回答 (n=87)
農林業(漁業)の振興	24.4%	22.9%	26.0%	20.7%
既存の工業(製造業)の育成	29.4%	32.2%	27.8%	23.0%
工場など新たな企業の誘致	30.1%	37.5%	25.2%	23.0%
地域の素材を活かした加工産業の育成	36.7%	32.7%	40.7%	28.7%
商業の振興	44.7%	44.7%	45.4%	39.1%
観光産業の振興	15.7%	15.3%	15.9%	16.1%
その他	2.0%	2.5%	1.8%	1.1%
無回答	4.5%	2.8%	4.5%	18.4%

4) 問16 まちづくりのために参加したい(できる)活動

まちづくりのために参加したい(できる)活動については、男性は「安全に暮らせる町をめざす【交通安全・防犯・防災活動】」(39.5%)、女性は「美しい町をつくるための【花いっぱい活動や清掃活動】」(44.9%)が最も高くなっています。

その他、男性は「地域の自然を守り育てる【自然保護・愛護活動】」(31.0%)、「スポーツ・保健事業への参加・協力など【健康なまちづくり活動】」(26.5%)が全体平均に比べて高くなっています。

問16 まちづくりのために 参加したい(できる)活動(3つまで)	全体 (n=1,563)	問1(ア)性別		
		男性 (n=645)	女性 (n=831)	無回答 (n=87)
美しい町をつくるための【花いっぱい活動や清掃活動】	40.7%	36.0%	44.9%	35.6%
地域の自然を守り育てる【自然保護・愛護活動】	25.8%	31.0%	21.8%	26.4%
資源のムダをなくし地球環境を守る【リサイクル活動や省資源活動】	32.2%	29.1%	35.7%	20.7%
高齢者や困っている人たちへの【福祉ボランティア活動】	27.8%	22.9%	31.0%	33.3%
郷土の歴史や文化を学び、後世に伝える【歴史文化活動】	10.6%	14.3%	7.8%	10.3%
子ども会やPTA、健全育成組織等を通じた【児童・青少年の育成活動】	13.5%	12.9%	15.2%	2.3%
スポーツ・保健事業への参加・協力など【健康なまちづくり活動】	20.6%	26.5%	16.8%	12.6%
安全に暮らせる町をめざす【交通安全・防犯・防災活動】	31.2%	39.5%	25.8%	21.8%
ペーロン大会やお祭り、文化祭、体育祭など【町や地区の各種行事実行活動】	12.2%	13.8%	11.7%	5.7%
町民相互や観光客へのあいさつや親切に心がける【明るいまちづくり運動】	17.4%	14.0%	20.8%	10.3%
ホームステイ(民間宿泊)の受け入れなど【国内外との地域交流活動】	4.4%	2.9%	5.9%	1.1%
まちづくりの企画・研究やリーダー役など【まちづくりの推進活動】	6.3%	9.9%	3.9%	3.4%
その他	3.6%	3.4%	3.5%	6.9%
無回答	8.4%	7.0%	7.8%	25.3%

② 職業別

職業別の属性は以下のとおりです。

		全体 (n=1,563)	問1(ウ)職業						
			農業 (n=26)	漁業 (n=3)	製造業・ 建設業 (n=167)	商業・ 観光・ サービス (n=184)	公務・団 体 勤務等 (n=129)	その他の 職業 (n=342)	無職 (n=672)
性別									
男性	41.3%	42.3%	66.7%	80.2%	40.8%	53.5%	32.5%	35.0%	20.0%
女性	53.2%	42.3%	33.3%	17.4%	54.9%	45.0%	64.9%	58.3%	42.5%
年齢									
20歳～29歳	5.5%	0.0%	0.0%	9.6%	8.7%	8.5%	9.1%	1.5%	5.0%
30歳～39歳	10.2%	3.8%	33.3%	21.6%	18.5%	18.6%	11.1%	3.1%	10.0%
40歳～49歳	17.4%	3.8%	33.3%	27.5%	26.1%	31.0%	28.7%	5.4%	5.0%
50歳～59歳	13.2%	3.8%	0.0%	16.2%	20.1%	24.0%	21.1%	5.1%	12.5%
60歳～69歳	20.3%	11.5%	33.3%	18.0%	20.7%	15.5%	21.6%	21.7%	12.5%
70歳以上	32.1%	76.9%	0.0%	7.2%	6.0%	2.3%	8.2%	62.5%	17.5%
居住地区									
子々川地区	1.9%	11.5%	0.0%	2.4%	1.6%	2.3%	0.6%	2.1%	0.0%
日並地区	16.2%	19.2%	0.0%	22.8%	12.5%	17.1%	17.3%	15.0%	12.5%
久留里地区	8.3%	7.7%	33.3%	10.2%	6.5%	6.2%	7.9%	8.9%	7.5%
左底地区	8.5%	15.4%	0.0%	9.6%	8.2%	6.2%	10.5%	7.7%	5.0%
元村地区	14.9%	19.2%	33.3%	8.4%	15.8%	18.6%	13.7%	15.8%	17.5%
野田地区	8.7%	0.0%	0.0%	6.6%	10.9%	6.2%	11.7%	8.0%	7.5%
浦地区	4.4%	0.0%	0.0%	6.6%	7.6%	3.9%	3.8%	3.7%	0.0%
浜田地区	19.3%	3.8%	0.0%	17.4%	18.5%	20.9%	15.8%	23.2%	2.5%
小島田地区	4.8%	7.7%	0.0%	4.2%	5.4%	0.8%	6.4%	4.8%	2.5%
西時津地区	11.8%	15.4%	33.3%	12.0%	13.0%	17.8%	11.7%	10.4%	7.5%
居住年数									
10年未満	18.6%	0.0%	33.3%	30.5%	24.5%	28.7%	20.8%	12.2%	10.0%
10年～19年	14.5%	7.7%	0.0%	19.2%	16.8%	20.9%	23.4%	7.6%	10.0%
20年～29年	16.6%	3.8%	0.0%	18.0%	22.8%	23.3%	19.6%	12.4%	15.0%
30年以上	46.2%	84.6%	33.3%	29.3%	33.7%	27.1%	33.9%	63.5%	25.0%

1) 問8 今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野

今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野については、農業では「犯罪のない安全で安心なまちづくり」(73.1%)、無職では「福祉の充実」(59.8%)、それ以外の職業では「道路の整備」が最も高くなっています。

その他、製造業・建設業では「公園や広場、遊び場の整備」をあげる人の割合が37.7%と全体平均に比べて高くなっています。

	全体 (n=1,563)	問1(ウ)職業							
		農業 (n=26)	漁業 (n=3)	製造業・建設業 (n=167)	商業・観光・サービス (n=184)	公務・団体勤務等 (n=129)	その他の職業 (n=342)	無職 (n=672)	無回答 (n=40)
産業の振興、雇用の場の拡大	34.1%	42.3%	③33.3%	40.1%	41.3%	37.2%	33.0%	30.1%	37.5%
道路の整備	①54.1%	③57.7%	①66.7%	①70.7%	①58.2%	①69.0%	①59.6%	43.9%	40.0%
バスなどの公共交通機関の充実	46.1%	26.9%	③33.3%	③41.9%	45.7%	②51.2%	49.7%	③45.1%	①50.0%
市街地や商店街の整備	18.4%	11.5%	0.0%	20.4%	22.3%	17.1%	18.7%	17.6%	15.0%
町営住宅や宅地の・整備供給	9.9%	3.8%	③33.3%	11.4%	10.9%	7.0%	11.4%	9.4%	5.0%
水道や下水道の整備	7.7%	15.4%	0.0%	6.0%	12.0%	6.2%	6.4%	7.6%	7.5%
ごみやし尿処理の充実	8.2%	23.1%	0.0%	7.2%	9.2%	3.9%	7.3%	8.9%	7.5%
環境保全や公害防止対策の充実	15.4%	23.1%	0.0%	13.8%	15.8%	11.6%	13.2%	17.1%	20.0%
公園や広場、遊び場の整備	25.8%	19.2%	③33.3%	37.7%	27.7%	34.9%	28.1%	19.9%	22.5%
交通安全や消防・防災対策の充実	29.3%	38.5%	③33.3%	30.5%	22.8%	24.8%	31.6%	30.1%	30.0%
街並景観や緑化など美しいまちづくり	19.2%	15.4%	0.0%	19.8%	23.4%	22.5%	15.2%	19.9%	12.5%
犯罪のない安全で安心なまちづくり	③50.5%	①73.1%	③33.3%	39.5%	②52.2%	48.1%	③52.6%	②51.9%	③42.5%
福祉の充実	②53.8%	②61.5%	③33.3%	②42.5%	③46.2%	③48.8%	②53.8%	①59.8%	②47.5%
保健(健康づくり)・医療の充実	36.4%	38.5%	①66.7%	34.7%	34.8%	34.9%	30.7%	40.9%	25.0%
まちづくりを担う人材の育成・確保	19.8%	15.4%	③33.3%	18.0%	17.9%	19.4%	20.8%	21.0%	10.0%
教育・文化・スポーツの振興	20.4%	7.7%	③33.3%	20.4%	21.2%	29.5%	26.0%	16.8%	7.5%
コミュニティの充実	5.8%	7.7%	0.0%	6.0%	2.2%	6.2%	5.3%	7.0%	5.0%
内外との交流や国際化の推進	3.6%	0.0%	③33.3%	3.6%	6.5%	3.1%	3.8%	3.0%	2.5%
その他	2.8%	0.0%	0.0%	4.8%	3.3%	4.7%	2.6%	1.8%	5.0%
無回答	2.3%	3.8%	0.0%	1.2%	2.2%	0.0%	0.3%	3.3%	15.0%

2) 問9 地域産業振興について特に力を注ぐべき分野

地域産業振興について特に力を注ぐべき分野としては、農業では「農林業(漁業)の振興」(80.8%)、漁業では「既存の工業(製造業)の育成」(100.0%)、無職では「地域の素材を活かした加工産業の育成」(38.5%)、それ以外の職業では「商業の振興」が最も高くなっています。

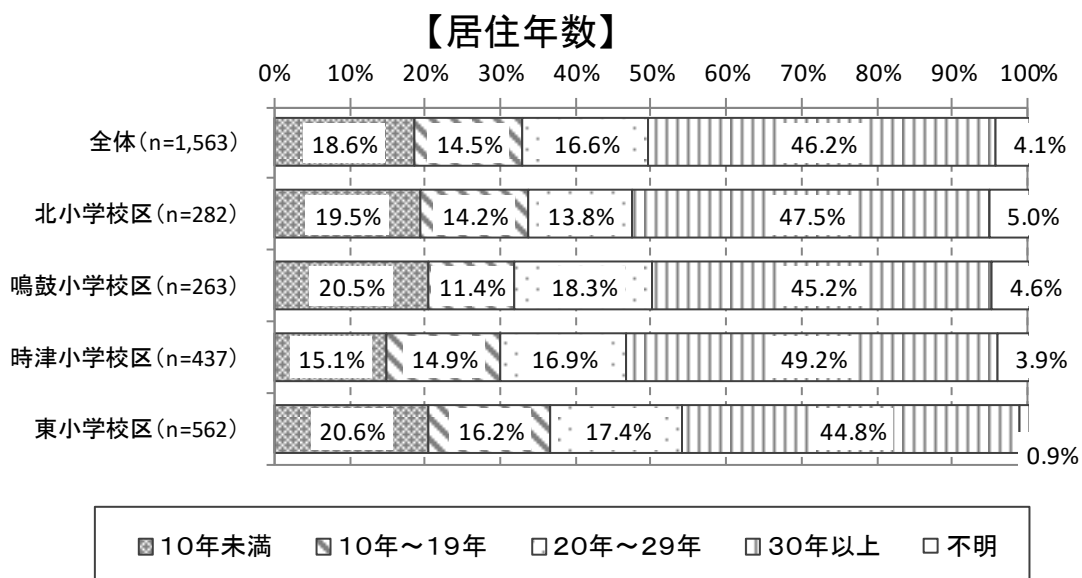
	全体 (n=1,563)	問1(ウ)職業							
		農業 (n=26)	漁業 (n=3)	製造業・建設業 (n=167)	商業・観光・サービス (n=184)	公務・団体勤務等 (n=129)	その他の職業 (n=342)	無職 (n=672)	無回答 (n=40)
農林業(漁業)の振興	24.4%	80.8%	0.0%	14.4%	21.2%	20.2%	24.3%	26.6%	25.0%
既存の工業(製造業)の育成	29.4%	15.4%	100.0%	43.1%	29.3%	28.7%	27.2%	28.3%	15.0%
工場など新たな企業の誘致	30.1%	11.5%	33.3%	43.7%	34.2%	31.8%	25.7%	28.6%	25.0%
地域の素材を活かした加工産業の育成	36.7%	46.2%	33.3%	28.1%	35.9%	38.0%	36.5%	38.5%	37.5%
商業の振興	44.7%	23.1%	33.3%	44.9%	51.1%	53.5%	55.0%	37.8%	30.0%
観光産業の振興	15.7%	15.4%	0.0%	13.2%	17.4%	17.1%	16.7%	15.3%	12.5%
その他	2.0%	0.0%	0.0%	2.4%	2.7%	0.0%	2.3%	2.1%	2.5%
無回答	4.5%	0.0%	0.0%	1.2%	1.6%	0.8%	2.6%	7.3%	17.5%

③ 居住地区別

居住地区別としては4つの小学校区別にみえています。地区ごとに大きな違いはみられませんが、以下の項目で若干の差がみられます。

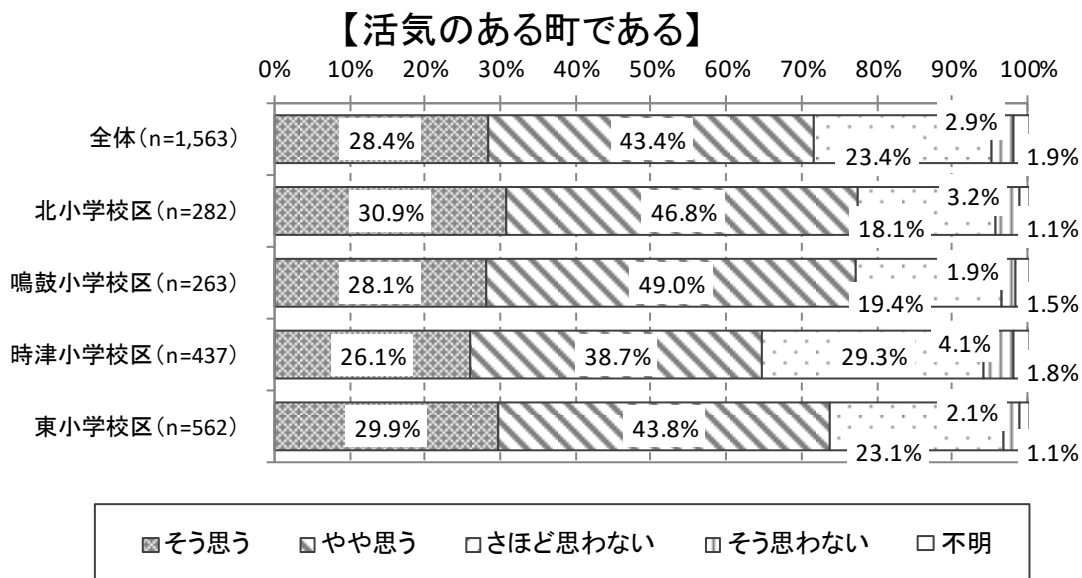
1) 問1 居住年数

時津小学校区は比較的居住年数が長い人の割合が高く、東小学校区は居住年数が短い人の割合が高くなっています。



2) 問2 時津町のイメージ

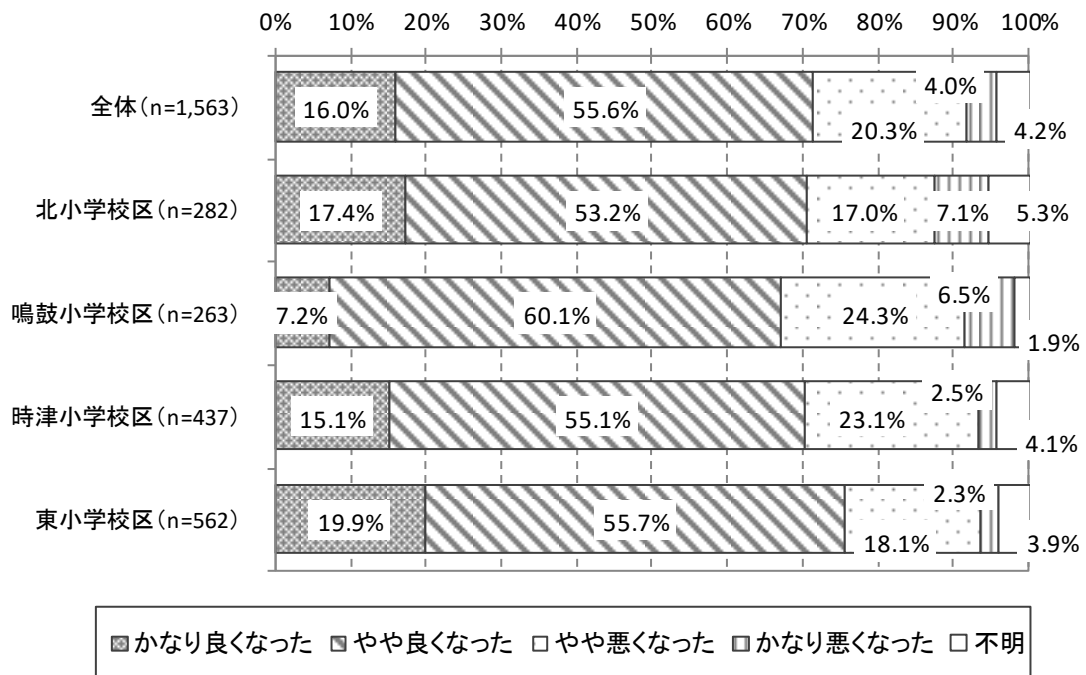
時津町のイメージとして、時津小学校区では“活気のある町である”に対して“そう思う”と回答した人の割合が64.8%と他地区に比べて低くなっています。



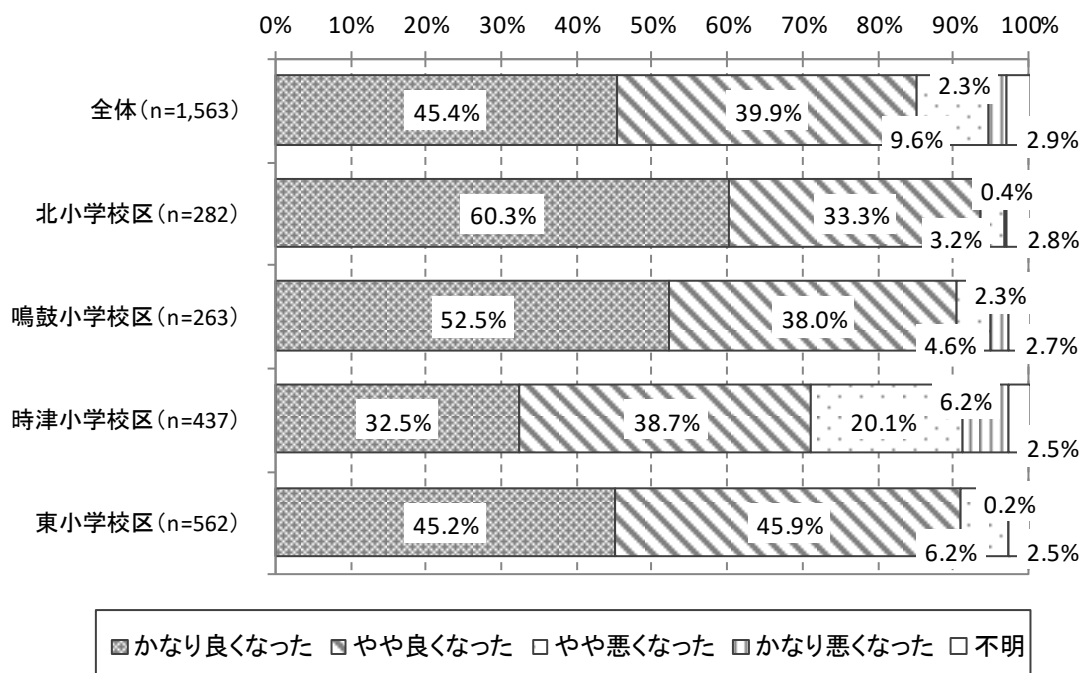
3) 問5 地域の状況の変化

地域の状況の変化については、鳴鼓小学校区では“バスなどの交通機関”に対して、時津小学校区では“買い物の便利さ”に対して“良くなった”と回答した人の割合がそれぞれ他地区に比べて低くなっています。

【バスなどの交通機関】



【買い物の便利さ】



4) 問8 今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野

今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野として、北小学校区と鳴鼓小学校区では「バスなどの公共交通機関の充実」(58.2%、59.7%)をあげる人の割合が他地区に比べて高くなっています。

	全体 (n=1,563)	問1(エ)居住地区(統合)				
		北小学校区 (n=282)	鳴鼓小学校区 (n=263)	時津小学校区 (n=437)	東小学校区 (n=562)	無回答 (n=19)
産業の振興、雇用の場の拡大	34.1%	31.9%	32.3%	34.3%	35.9%	31.6%
道路の整備	54.1%	57.8%	60.8%	50.3%	52.8%	31.6%
バスなどの公共交通機関の充実	46.1%	58.2%	59.7%	35.0%	42.9%	31.6%
市街地や商店街の整備	18.4%	13.5%	14.1%	26.5%	16.4%	26.3%
町営住宅や宅地の・整備供給	9.9%	7.4%	9.9%	12.1%	9.1%	15.8%
水道や下水道の整備	7.7%	10.3%	8.4%	8.0%	6.0%	0.0%
ごみやし尿処理の充実	8.2%	8.2%	10.6%	7.1%	7.8%	10.5%
環境保全や公害防止対策の充実	15.4%	14.2%	18.6%	16.2%	13.9%	15.8%
公園や広場、遊び場の整備	25.8%	23.4%	29.3%	24.5%	26.7%	21.1%
交通安全や消防・防災対策の充実	29.3%	25.9%	30.4%	31.6%	28.8%	26.3%
街並景観や緑化など美しいまちづくり	19.2%	19.1%	17.1%	20.4%	19.4%	15.8%
犯罪のない安全で安心なまちづくり	50.5%	55.0%	52.5%	46.7%	51.1%	31.6%
福祉の充実	53.8%	54.6%	48.3%	54.2%	56.2%	36.8%
保健(健康づくり)・医療の充実	36.4%	36.9%	35.7%	31.8%	40.9%	10.5%
まちづくりを担う人材の育成・確保	19.8%	18.1%	17.5%	23.3%	19.4%	5.3%
教育・文化・スポーツの振興	20.4%	19.1%	18.3%	21.7%	21.7%	0.0%
コミュニティの充実(地域活動、集会施設など)	5.8%	3.5%	6.8%	5.9%	6.4%	5.3%
内外との交流や国際化の推進	3.6%	3.9%	3.4%	4.3%	3.2%	0.0%
その他	2.8%	4.6%	0.8%	3.4%	2.3%	0.0%
無回答	2.3%	1.1%	0.8%	3.2%	1.8%	36.8%

④ 居住年数別

居住年数別にみると、居住年数が10年未満は「30歳～39歳」（30.9%）、10～19年は「40～49歳」（32.2%）、20～29年は「50～59歳」（26.6%）、30年以上は「70歳以上」（49.7%）の割合が高くなっています。

問1(イ)年齢	全体 (n=1,563)	問1(オ)居住年数				
		10年未満 (n=291)	10年～ 19年 (n=227)	20年～ 29年 (n=259)	30年以上 (n=722)	無回答 (n=64)
20歳～29歳	5.5%	11.3%	7.0%	13.9%	0.0%	1.6%
30歳～39歳	10.2%	30.9%	11.9%	5.8%	3.5%	3.1%
40歳～49歳	17.4%	23.7%	32.2%	13.9%	11.8%	14.1%
50歳～59歳	13.2%	10.3%	18.9%	26.6%	8.4%	6.3%
60歳～69歳	20.3%	8.6%	15.9%	21.6%	26.2%	17.2%
70歳以上	32.1%	15.1%	13.7%	17.8%	49.7%	32.8%
無回答	1.3%	0.0%	0.4%	0.4%	0.4%	25.0%

居住年数別にみても大きな違いはありませんが、以下の項目で若干の差がみられます。

1) 問5 地域の状況の変化

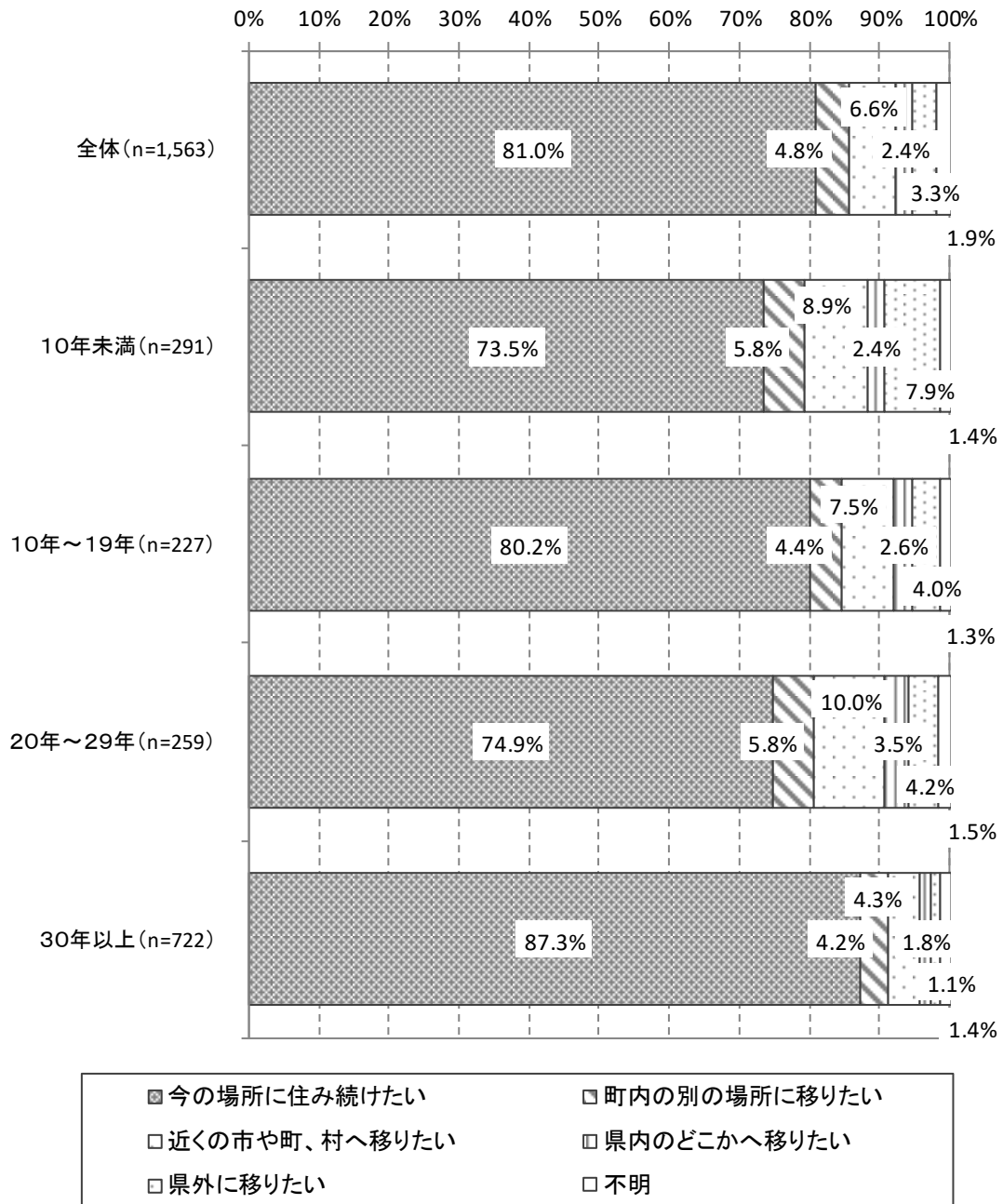
地域の状況の変化について、各項目で「かなり良くなった」と回答した人の割合を整理したものが以下の表です。

概ね居住年数が長い人ほど高い評価がみられます。30年以上居住している人では、「バスなどの交通機関」「ごみやし尿の収集・処理」「下水道や側溝などの整備状況」「水道の整備状況」「病院などの医療体制」に対して「かなり良くなった」と回答した人の割合が全体平均よりもやや高くなっています。

問5 地域の状況の変化	全体 (n=1,563)	問1(オ)居住年数				
		10年未満 (n=291)	10年～ 19年 (n=227)	20年～ 29年 (n=259)	30年以上 (n=722)	無回答 (n=64)
自然環境の状況	9.3%	5.8%	4.8%	6.6%	12.7%	14.1%
道路の整備状況	16.0%	10.0%	9.7%	17.4%	19.0%	26.6%
バスなどの交通機関	16.0%	8.6%	11.0%	13.5%	21.2%	18.8%
交通事故対策としての安全性	6.8%	2.7%	3.5%	5.8%	9.6%	10.9%
山や川などの自然災害の対策	7.2%	2.7%	4.0%	5.0%	10.4%	10.9%
消火栓設置等防火対策	7.6%	4.1%	4.4%	4.6%	10.8%	10.9%
ごみやし尿の収集・処理	23.6%	11.7%	13.2%	18.9%	32.8%	29.7%
下水道や側溝などの整備状況	19.2%	8.9%	8.8%	17.4%	26.3%	29.7%
水道の整備状況	21.6%	10.7%	11.0%	15.4%	30.6%	31.3%
公園や遊び場の整備状況	13.9%	10.7%	10.1%	15.4%	15.2%	20.3%
病院などの医療体制	17.9%	10.0%	13.2%	15.1%	23.3%	21.9%
高齢者や障害者の福祉対策	11.6%	7.6%	7.5%	10.0%	14.7%	15.6%
保育所や学校の整備状況	16.8%	11.3%	17.2%	17.0%	18.3%	21.9%
文化・スポーツ等公共施設の整備状況	13.4%	10.3%	9.3%	12.0%	15.9%	18.8%
市街地の整備状況	17.0%	16.8%	12.8%	17.8%	17.9%	20.3%
買い物の便利さ	45.4%	45.0%	41.0%	49.0%	45.7%	43.8%
地域の経済状況	13.1%	16.2%	13.2%	13.5%	11.6%	12.5%
町や地区の行事	10.4%	6.5%	10.6%	8.9%	11.5%	20.3%
町民同士のふれあい、近隣関係	8.1%	4.5%	6.2%	5.4%	10.9%	9.4%

2) 問6 定住意向

定住意向については、いずれの居住年数も「今の場所に住み続けたい」と回答した人の割合が 70%以上と高くなっており、その中でも 30 年以上で 87.3%を占めています。



3) 問 17 まちづくりへの参加方法

まちづくりへの参加方法としては、いずれの居住年数も「選挙やアンケートなどを通じて意思表示したい」とあげる人の割合が最も高くなっています。

その他、居住年数が 19 年未満の人は「必要により、投書や陳情などにより意見を述べたい」、居住年数が 20 年以上の人は「行政（役場）や議会に一任する」とあげる人の割合が高くなっています。

問17 まちづくりへの参加方法 (2つまで)	全体 (n=1,563)	問1(オ)居住年数				
		10年未満 (n=291)	10年～ 19年 (n=227)	20年～ 29年 (n=259)	30年以上 (n=722)	無回答 (n=64)
まちづくりを考える自主的な組織・活動に参加し、地域を考え、行動したい	18.2%	19.2%	15.0%	15.1%	19.3%	25.0%
地区や各種団体など既存組織を通じて意見を述べ、行動したい	15.2%	11.0%	18.5%	13.1%	16.5%	17.2%
公聴会や懇談会などに積極的に参加したい	10.7%	7.2%	12.8%	8.1%	11.9%	15.6%
必要により、投書や陳情などにより意見を述べたい	23.2%	30.6%	26.9%	23.9%	19.7%	12.5%
選挙やアンケートなどを通じて意思表示したい	48.0%	53.6%	50.2%	52.1%	44.9%	34.4%
行政(役場)や議会に一任する	24.8%	23.4%	17.2%	26.3%	27.3%	23.4%
関心がない	8.2%	10.0%	9.7%	8.5%	7.3%	3.1%
その他	3.3%	2.1%	4.0%	1.5%	4.2%	3.1%
無回答	7.7%	2.7%	5.7%	7.3%	9.4%	18.8%

2. 前回アンケート結果との比較分析

前回調査は、平成 27 年に第 5 次時津町総合計画の策定にあたり、アンケート調査を実施しています。

配布数は、今回調査と同じ 5,000 票を配布し、アンケートの設問内容も今回のアンケートとほぼ同じものです。

前回と今回のアンケート調査の回答者の属性を整理したものが以下の表です。

		令和元年 (今回)	平成27年 (前回)
配布数		5,000 票	5,000 票
回収数		1,563 票	1,598 票
回収率		31.3%	32.0%
性別	男性	41.3%	39.9%
	女性	53.2%	55.6%
年齢	20～29 歳	5.5%	4.4%
	30～39 歳	10.2%	9.9%
	40～49 歳	17.4%	14.5%
	50～59 歳	13.2%	14.0%
	60～69 歳	20.3%	25.7%
	70 歳以上	32.1%	30.3%
職業	農業	1.7%	1.8%
	漁業	0.2%	0.0%
	製造業・建設業	10.7%	8.8%
	商業・観光・サービス業	11.8%	12.4%
	公務・団体勤務等	8.3%	6.4%
	その他の職業	21.9%	18.0%
	無職	43.0%	50.8%
居住地区	北小学校区	18.1%	17.0%
	鳴鼓小学校区	16.8%	16.6%
	時津小学校区	28.0%	29.2%
	東小学校区	35.9%	36.1%
居住年数	10年未満	18.6%	20.0%
	10～19 年	14.5%	13.9%
	20～29 年	16.6%	15.9%
	30 年以上	46.2%	46.1%

前回のアンケート調査結果との比較分析は、次の項目について、前回と今回の調査結果の比較分析を行います。

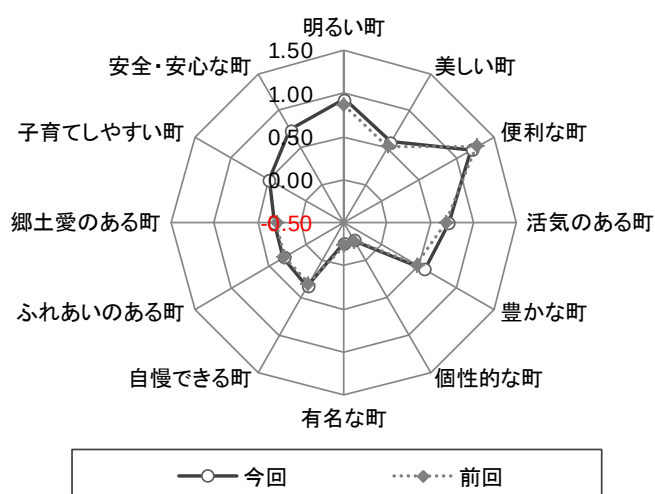
- ◇時津町のイメージ
- ◇時津町の住み良さ
- ◇地域の状況の変化
- ◇定住意向
- ◇望む町の将来像
- ◇今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野

①時津町のイメージ

前回のアンケート調査と同様、町のイメージについて得点化し、比較したものが下図です。

前回と同様、「便利な町」（1.20 点）の得点が最も高くなっています。

$$\text{得点} = \frac{\text{「そう思う」} \times 2 + \text{「やや思う」} \times 1 + \text{「さほど思わない」} \times (-1) + \text{「そう思わない」} \times (-2) + \text{不明} \times 0}{\text{総サンプル数}}$$

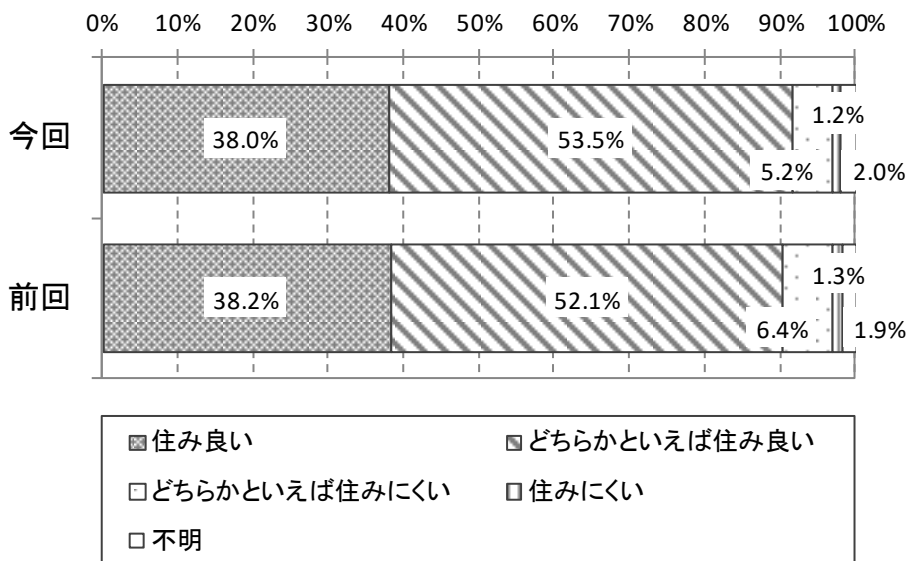


	今回	前回
明るい町	0.93	0.87
美しい町	0.58	0.52
便利な町	1.20	1.28
活気のある町	0.71	0.68
豊かな町	0.57	0.48
個性的な町	-0.27	-0.26
有名な町	-0.26	-0.24
自慢できる町	0.35	0.32
ふれあいのある町	0.31	0.30
郷土愛のある町	0.31	0.27
子育てしやすい町	0.51	非聴取
安全・安心な町	0.74	非聴取

②時津町の住み良さ

時津町の住み良さについては、「住み良い」と「どちらかといえば住み良い」と回答した人の割合を合わせると、今回は 91.5%で、前回の 90.3%を 1.2 ポイント上回っています。

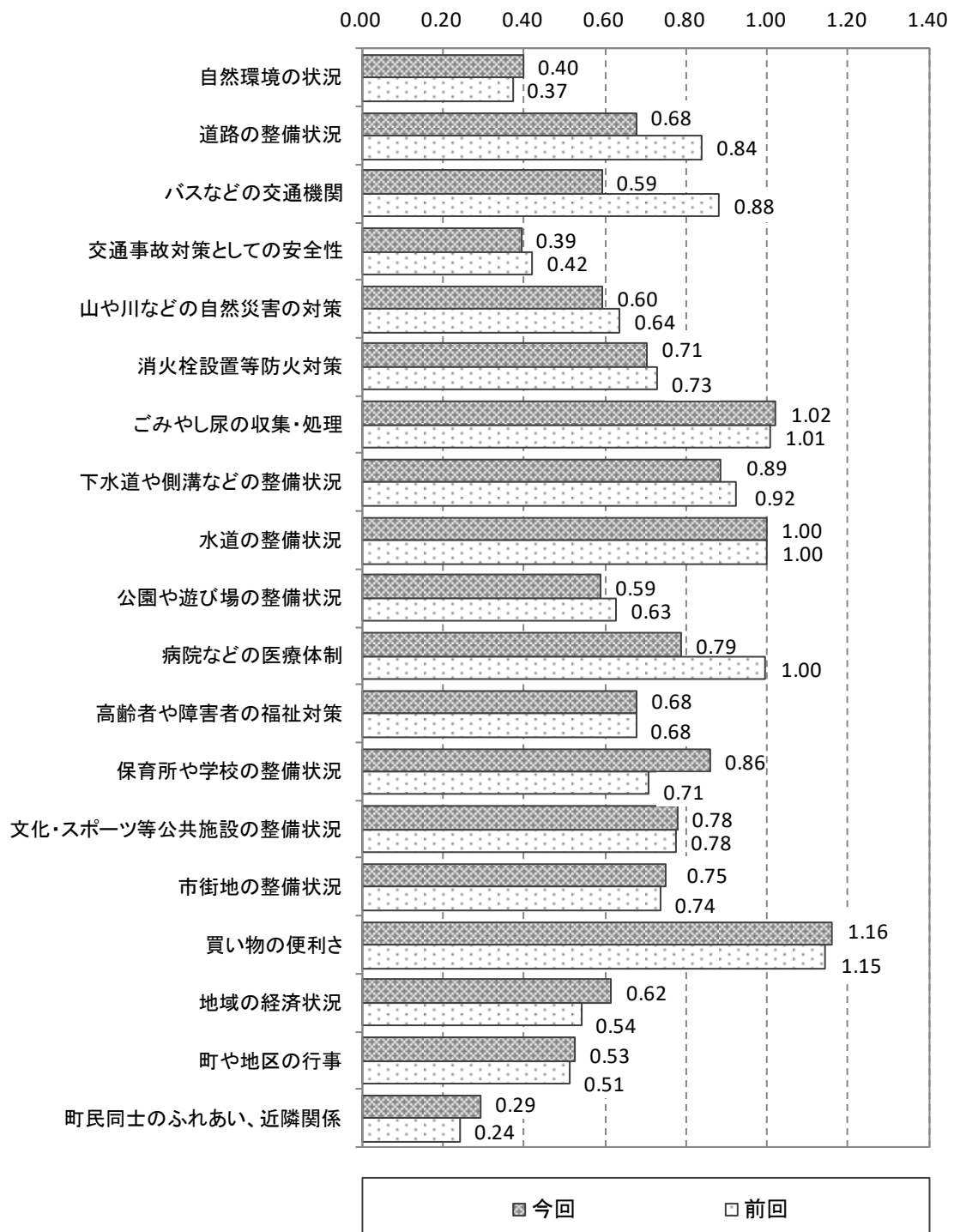
また、「住み良い」と回答した人の割合は、今回は 38.0%、前回は 38.2%と同程度の割合を示しています。



③地域の状況の変化

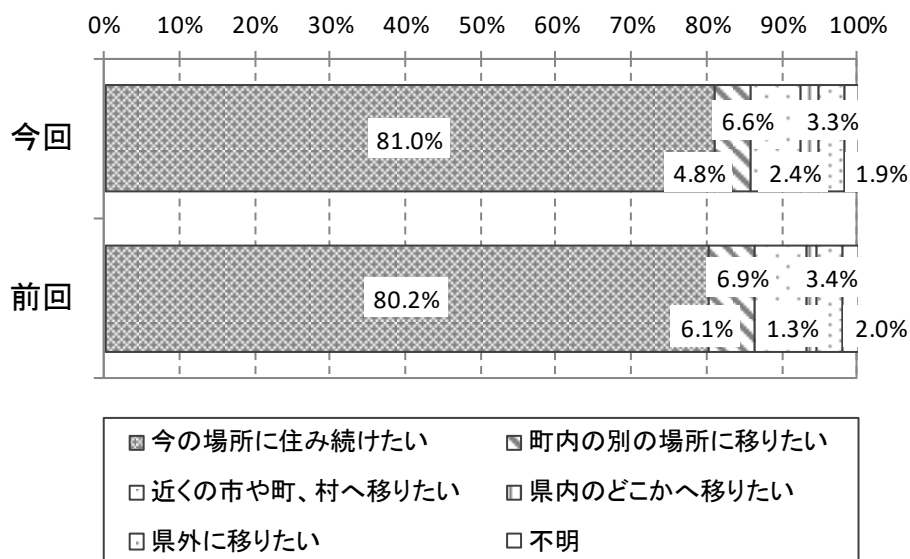
地域の状況の変化については、前回から上がった項目の中でも「保育所や学校の整備状況」の伸び率が0.15ポイント上昇と最も高くなっています。一方で、前回から下がった項目の中では「バスなどの交通機関」「病院などの医療体制」「道路の整備状況」の低下が比較的顕著になっています。

$$\text{得点} = \frac{\text{「かなり良くなった」} \times 2 + \text{「やや良くなった」} \times 1 + \text{「やや悪くなった」} \times (-1) + \text{「かなり悪くなった」} \times (-2) + \text{不明} \times 0}{\text{総サンプル数}}$$



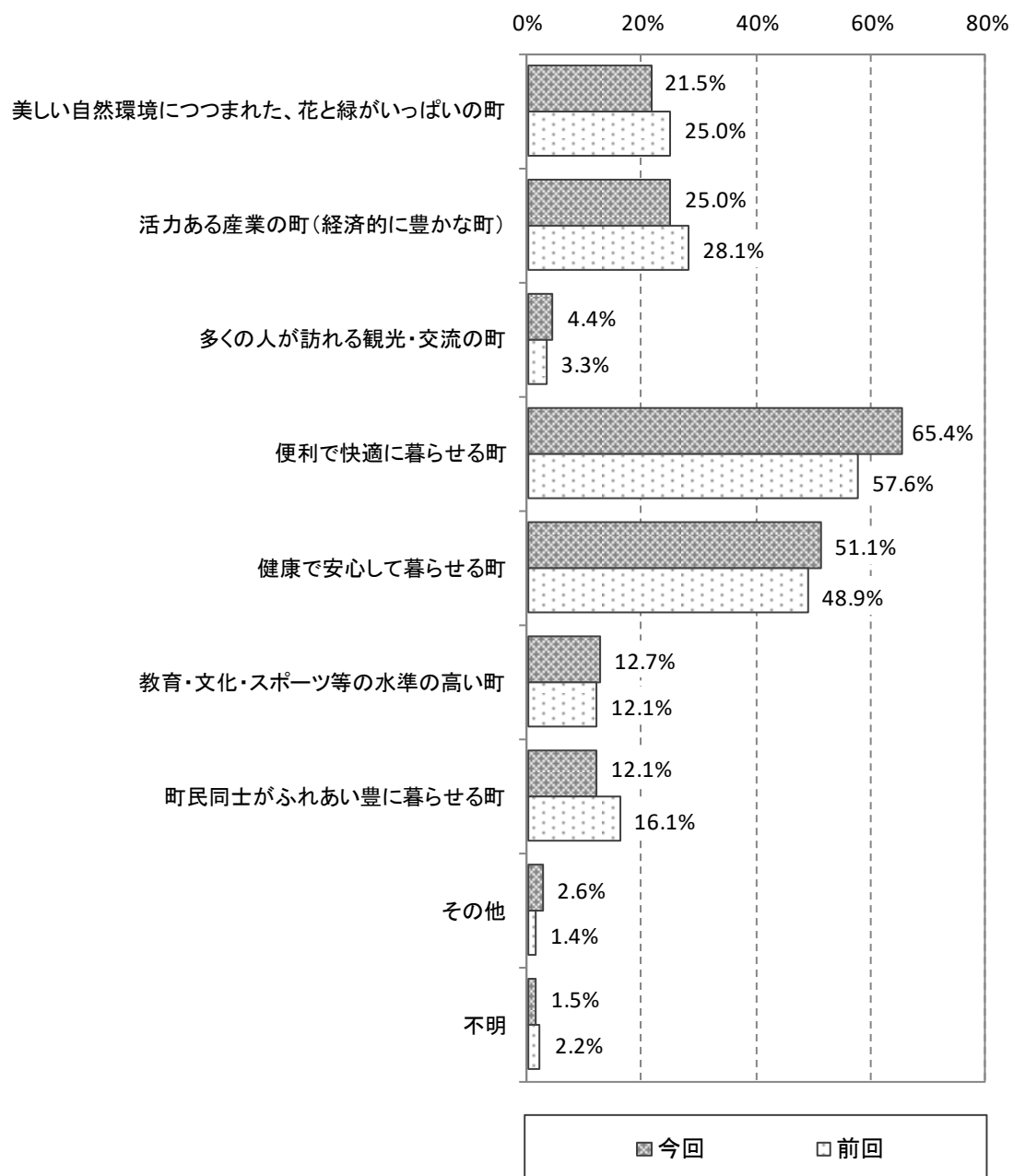
④定住意向

定住意向については、「今の場所に住み続けたい」と回答した人の割合は、今回は81.0%で、前回の80.2%から0.8ポイント上昇しています。



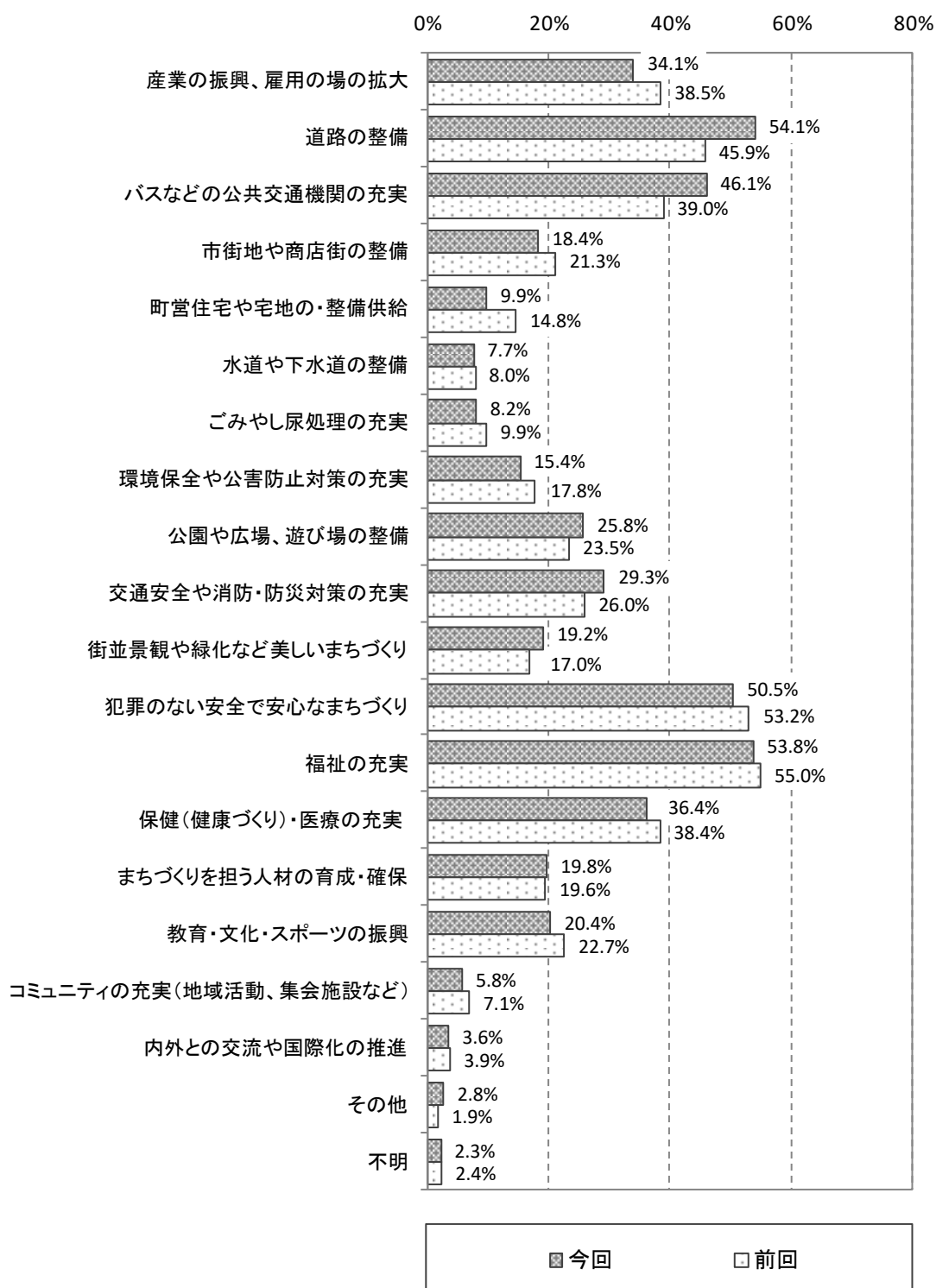
⑤望む町の将来像

望む町の将来像については、前回と今回ともに第1位は「便利で快適に暮らせる町」、第2位は「健康で安心して暮らせる町」があげられ、2項目とも前回に比べて割合が高くなっています。



⑤ 今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野

今後のまちづくりで特に力を注ぐべき分野については、依然として「福祉の充実」(53.8%)、「犯罪のない安全で安心なまちづくり」(50.5%)が高いものの、「道路の整備」が上昇し、54.1%と最も高くなっています。また、前回に比べて「バスなどの公共交通機関の充実」(46.1%)への要望が高まっています。



第6次時津町総合計画
まちづくり住民アンケート調査結果
報告書

令和2年1月
〒851-2198 長崎県西彼杵郡時津町浦郷 274-1
電話(代表):095-882-2211